

腫瘍 (4 4 問)

はき国家試験 病理学

【癌】

はき 28-44 腺癌の発生頻度が最も高いのはどれか。

1. 皮膚
2. 舌
3. 子宮頸部
4. 膵臓

はき 27-44 扁平上皮癌が最も発生しやすいのはどれか。

1. 舌
2. 胃
3. 胆嚢
4. 膵臓

はき 24-44 癌が最も転移しやすい臓器はどれか。

1. 心臓
2. 脾臓
3. 肝臓
4. 腎臓

はき 23-43 癌の病期分類の決定に必要な項目はどれか。

1. 悪液質
2. 腫瘍マーカー
3. 組織型
4. リンパ節転移

はき 23-44 癌と腫瘍マーカーの組合せで最も適切なのはどれか。

1. 肝細胞癌 ————— HCG
2. 胃癌 ————— CEA
3. 食道癌 ————— CA19-9
4. 肺癌 ————— PSA

はき 22-49 扁平上皮癌が好発するのはどれか。

1. 食道
2. 胃
3. 小腸
4. 大腸

はき 21-50 放射性ヨウ素の被曝によって最も生じやすい腫瘍はどれか。

1. 胃癌
2. 肺癌
3. 前立腺癌
4. 甲状腺癌

はき 20-51 癌と前癌病変との組合せで正しいのはどれか。

1. 子宮頸癌 ———— 子宮頸部異形成
2. 胃癌 ———— 胃潰瘍
3. 乳癌 ———— 乳腺症
4. 前立腺癌 ———— 前立腺肥大

はき 17-51 男性よりも女性に多い癌はどれか。

1. 膵臓癌
2. 胆嚢癌
3. 肝臓癌
4. 食道癌

はき 9-56 ウイルスが関与しない腫瘍はどれか。

1. 腎癌
2. 肝細胞癌
3. 成人T細胞白血病
4. バーキットリンパ腫

はき 8-56 腫瘍の間質について誤っている記述はどれか。

1. 肝細胞癌の間質は毛細血管からなる。
2. 硬性癌には膠原線維が多い。
3. 肉腫では腫瘍細胞と間質の境界が明瞭である。
4. 浸潤性発育を示すのは悪性腫瘍である。

はき 7-53 黒色の下血をきたした患者がいる。原因疾患はどれか。

1. 直腸癌
2. 潰瘍性大腸炎
3. 虫垂炎
4. 胃・十二指腸潰瘍

はき 7-55 腺癌の好発部位として誤っているのはどれか。

1. 肺
2. 胃
3. 結腸
4. 子宮腔部

はき 5-55 腫瘍とその好発部位との組合せで正しいのはどれか。

1. 嚢胞腺腫 ———— 卵巣
2. 乳頭腫 ———— 肝臓
3. 扁平上皮癌 ———— 大腸
4. 腺癌 ———— 膀胱

はき 5-56 上皮内癌が発生する部位はどれか。

1. 胃
2. 結腸
3. 胆嚢
4. 子宮腔部

はき 4-56 ウイルスが原因となる腫瘍はどれか。

1. ウィルムス腫瘍
2. 成人T細胞白血病
3. 移行上皮癌
4. ユーイング肉腫

はき 1-55 非上皮性腫瘍に属するのはどれか。

1. 乳頭腫
2. 腺腫
3. 腺癌
4. 線維腫

【腫瘍】

はき 1-56 悪性腫瘍について正しいのはどれか。

1. 増殖が遅い。
2. 転移する。
3. 膨張性発育をする。
4. 異型性が弱い。

はき 2-55 腫瘍について正しい記述はどれか。

1. 非上皮性腫瘍は蜂巢構造を示す。
2. 上皮性腫瘍は実質と間質との境界が不鮮明である。
3. 悪性腫瘍は異型性が強い。
4. 良性腫瘍は浸潤性に発育する。

はき 3-54 腫瘍について正しい記述はどれか。

1. 線維腫は悪性非上皮性腫瘍である。
2. 乳頭腫は良性非上皮性腫瘍である。
3. 血管肉腫は悪性上皮性腫瘍である。
4. 腺腫は良性上皮性腫瘍である。

はき 4-55 腫瘍に属さないのはどれか。

1. 腺腫
2. カルチノイド
3. 肉芽腫
4. ホジキン病

はき 6-55 腫瘍とその好発部位との組合せで誤っているのはどれか。

1. 乳頭腫 —— 膀胱
2. 腺腫 —— 大腸
3. 横紋筋腫 —— 子宮
4. 脂肪腫 —— 皮下組織

はき 10-55 化生について誤っているのはどれか。

1. 腫瘍性変化
2. 組織適応
3. 上皮間変化
4. 形態変化

はき 12-56 腫瘍の壊死によって引き起こされる病態はどれか。

1. 発熱
2. 悪液質
3. 免疫異常
4. 内分泌異常

はき 14-53 悪性腫瘍細胞の特徴として誤っている記述はどれか。

1. 核分裂像が多い。
2. 細胞質に対する核の面積比 (N/C) が小さい。
3. 極性を欠く。
4. 核小体が明瞭である。

はき 15-50 小児に好発する腫瘍でないのはどれか。

1. 神経芽腫
2. 髄膜腫
3. 骨肉腫
4. 白血病

はき 15-51 悪性腫瘍の特徴として誤っているのはどれか。

1. 浸潤性発育を示す。
2. 境界が明瞭である。
3. 転移を起こす。
4. 出血壊死を伴う。

はき 16-51 腫瘍マーカーはどれか。

1. α フェトプロテイン
2. 組織適合抗原
3. ヒスタミン
4. シクロオキシゲナーゼ

はき 18-51 腫瘍の良性・悪性を判定するための所見として適切でないのはどれか。

1. 腫瘍病変境界の性状
2. 転移の有無
3. 核分裂像の頻度
4. 蜂窩状構造の有無

はき 19-50 自己免疫疾患と合併病変との組合せで正しいのはどれか。

1. 全身性エリテマトーデス ————— 糸球体腎炎
2. 関節リウマチ ————— 内臓悪性腫瘍
3. 橋本病 ————— アフタ性口内炎
4. 進行性全身性硬化症 ————— 胆汁うっ滞

はき 20-46 最も頻度の高い塞栓はどれか。

1. 腫瘍
2. 血栓
3. 空気
4. 脂肪

はき 25-44 上皮性腫瘍はどれか。

1. 乳頭腫
2. 線維腫
3. 膠芽腫
4. 白血病

【骨腫瘍】

転移性骨腫瘍

骨肉腫

骨軟骨腫

【脳腫瘍】

神経膠腫

髄膜腫

下垂体腺腫

神経鞘腫

転移性脳腫瘍

【肺がん】

【胃がん】

はき 21-45 疾病と一般素因との組合せで最も適切なのはどれか。

1. 網膜芽腫 ————— 高齢者に多い。
2. 全身性エリテマトーデス ————— 男性に多い。
3. 胃癌 ————— 欧米人に多い。
4. 結核症 ————— 肺に多い。

はき 7-56 胃癌の転移と関係ないのはどれか。

1. クルーケンベルグ
2. リード・ステルンベルグ
3. シュニッツラー
4. ウィルヒョウ

【肝がん】

はき 10-56 肝臓の悪性腫瘍で誤っている記述はどれか。

1. 転移性腫瘍が多い。
2. 原発性腫瘍の大部分は肝細胞癌である。
3. 中心性壊死は肝細胞癌の特徴である。
4. 日本人の肝細胞癌の大部分はC型肝炎ウイルスの持続感染がある。

【胆のうがん・総胆管がん】

【膵がん】

【前立腺がん】

【膀胱がん】

【腎腫瘍】（腎細胞がん）

【大腸がん】

【脊髄腫瘍】

【乳がん】

はき 24-38 乳癌の確定診断に最も重要なのはどれか。

1. 触診
2. 超音波検査
3. エックス線検査
4. 生検

【子宮体がん】

【子宮頸がん】

【白血病】

はき 2-51 病原体と疾患との組合せで誤っているのはどれか。

1. ウイルス ————— 成人T細胞白血病
2. 細菌 ————— 結核
3. リケッチア ————— 破傷風
4. 原虫 ————— マラリア

はき 3-56 疾患と染色体異常との組合せで正しいのはどれか。

1. クラインフェルター症候群 ————— XO
2. ターナー症候群 ————— XXY
3. 慢性骨髄性白血病 ————— フィラデルフィア染色体
4. ダウン症候群 ————— G22トリソミー

はき 4-56 ウイルスが原因となる腫瘍はどれか。

1. ウィルムス腫瘍
2. 成人T細胞白血病
3. 移行上皮癌
4. ユーイング肉腫

はき 9-56 ウイルスが関与しない腫瘍はどれか。

1. 腎癌
2. 肝細胞癌
3. 成人T細胞白血病
4. バーキットリンパ腫

はき 15-50 小児に好発する腫瘍でないのはどれか。

1. 神経芽腫
2. 髄膜腫
3. 骨肉腫
4. 白血病

はき 18-45 ウイルス感染症でないのはどれか。

1. 伝染性単核球症
2. C型肝炎
3. クロイツフェルト・ヤコブ病
4. 成人T細胞白血病

はき 25-44 上皮性腫瘍はどれか。

1. 乳頭腫
2. 線維腫
3. 膠芽腫
4. 白血病

はき 26-44 生命予後が良好なのはどれか。

1. 線維腫
2. 中皮腫
3. 膠芽腫
4. 白血病

【悪性リンパ腫】

腫瘍（26問）

はき 国家試験 臨床医学総論

【癌】

はき 2-60 顔貌と疾患との組合せで誤っているのはどれか。

1. 無欲性顔貌 ————— うつ病
2. ヒポクラテス顔貌 ————— 癌末期
3. 仮面様顔貌 ————— 神経症
4. 満月様顔貌 ————— クッシング症候群

はき 14-59 クールボアジェ徴候がみられるのはどれか。

1. 食道癌
2. 胃癌
3. 肝細胞癌
4. 腭頭部癌

【腫瘍】

はき 3-62 圧痛を特徴とするリンパ節腫脹がみられる疾患はどれか。

1. 化膿性リンパ節炎
2. 結核性リンパ節炎
3. 悪性リンパ腫
4. 転移性悪性腫瘍

【骨腫瘍】

転移性骨腫瘍

骨肉腫

骨軟骨腫

【脳腫瘍】

はき 9-60 脳腫瘍でみられる頭痛はどれか。

1. 筋収縮性頭痛
2. 牽引性頭痛
3. 片頭痛
4. 群発頭痛

神経膠腫

髄膜腫

下垂体腺腫

はき 17-56 無月経の原因として適切でないのはどれか。

1. 妊娠
2. 下垂体腫瘍
3. 神経性食思不振症
4. 子宮内膜症

神経鞘腫

転移性脳腫瘍

【肺がん】

はき 16-56 発熱がみられないのはどれか。

1. 結核
2. 甲状腺機能低下症
3. 皮膚筋炎
4. 肺癌

はき 27-50 咳・痰について正しいのはどれか。

1. 痰を伴う咳を乾性咳嗽という。
2. 気管支喘息の発作時は咳・痰は通常ない。
3. 血痰が出ても少量なら肺癌は考えない。
4. 誤嚥時の咳・痰は防御反応の一つである。

【胃がん】

はき 1-63 高熱とともに右季肋部痛を訴える場合にまず疑うべき疾患はどれか。

1. 胃 癌
2. 急性胆嚢炎
3. 膵 癌
4. 大動脈瘤破裂

はき 19-54 コーヒー残渣様の嘔吐がみられるのはどれか。

1. クロウン病
2. 胃 癌
3. 大腸癌
4. 潰瘍性大腸炎

【肝がん】

はき 1-59 血清中のAST (GOT) が上昇しないのはどれか。

1. 急性肝炎
2. 肝 癌
3. 胃 炎
4. 心筋梗塞

【胆のうがん・総胆管がん】

はき 23-55 胆嚢癌について正しいのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 胆石の合併は少ない。
3. 左季肋部痛が多い。
4. AFPの上昇がみられる。

【膵がん】

はき 1-63 高熱とともに右季肋部痛を訴える場合にまず疑うべき疾患はどれか。

1. 胃 癌
2. 急性胆嚢炎
3. 膵 癌
4. 大動脈瘤破裂

はき 14-68 40歳の肥満女性。右季肋部の痙痛と発熱、黄疸が認められた。最も考えられるのはどれか。

1. 膵尾部癌
2. 総胆管結石
3. 腎結石
4. 肝硬変

はき 18-56 黄疸をきたす疾患で尿中ビリルビンが上昇しないのはどれか。

1. 胆石症
2. 膵臓癌
3. 急性肝炎
4. 溶血性貧血

【前立腺がん】

【膀胱がん】

【腎腫瘍】（腎細胞がん）

【大腸がん】

はき 19-54 コーヒー残渣様の嘔吐がみられるのはどれか。

1. クロウン病
2. 胃癌
3. 大腸癌
4. 潰瘍性大腸炎

はき 22-54 吐血の原因となるのはどれか。

1. 大腸癌
2. クロウン病
3. 気管支拡張症
4. 胃潰瘍

【脊髄腫瘍】

【乳がん】

【子宮体がん】

【子宮頸がん】

【白血病】

はき 3-60 出血傾向がみられない疾患はどれか。

1. 急性骨髄性白血病
2. 鉄欠乏性貧血
3. 壊血病
4. 肝硬変

はき 4-68 骨髄移植の適応となる疾患はどれか。

1. 悪性貧血
2. 白血病
3. 血友病
4. エイズ

はき 5-58 白血球が増えない疾患はどれか。

1. 急性腎盂腎炎
2. 急性虫垂炎
3. 急性白血病
4. インフルエンザ

はき 10-61 脾腫をきたさない疾患はどれか。

1. 慢性骨髄性白血病
2. 悪性リンパ腫
3. 自己免疫性溶血性貧血
4. 血友病

はき 10-67 ネフローゼ症候群にみられないのはどれか。

1. 高度の蛋白尿
2. 高度白血病
3. 高脂血症
4. 浮腫

はき 22-57 リンパ節の圧痛がよくみられるのはどれか。

1. 悪性リンパ腫
2. 白血病
3. 伝染性単核球症
4. 化膿性リンパ節炎

【悪性リンパ腫】

はき 3-62 圧痛を特徴とするリンパ節腫脹がみられる疾患はどれか。

1. 化膿性リンパ節炎
2. 結核性リンパ節炎
3. 悪性リンパ腫
4. 転移性悪性腫瘍

はき 10-61 脾腫をきたさない疾患はどれか。

1. 慢性骨髄性白血病
2. 悪性リンパ腫
3. 自己免疫性溶血性貧血
4. 血友病

はき 17-57 易感染性に注意すべき疾患はどれか。

1. 高血圧症
2. 痛風
3. 悪性リンパ腫
4. 高脂血症

はき 22-57 リンパ節の圧痛がよくみられるのはどれか。

1. 悪性リンパ腫
2. 白血病
3. 伝染性単核球症
4. 化膿性リンパ節炎

【その他】

はき 22-53 血漿膠質浸透圧低下による浮腫がみられるのはどれか。

1. うっ血性心不全
2. 肝硬変
3. 癌性胸膜炎
4. フィラリア症

【癌】

はき 10-77 悪性腫瘍による痛みの治療で正しい組合せはどれか。

1. 上顎癌 — くも膜下腔ブロック
2. 舌 癌 — 顔面神経ブロック
3. 子宮癌 — 閉鎖神経ブロック
4. 膵臓癌 — 腹腔神経叢ブロック

はき 11-79 疾患と危険因子との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝細胞癌 — ウイルス感染
2. 喉頭癌 — 雑菌感染
3. 大腸癌 — 高繊維食摂取
4. 肺 癌 — 飲 酒

はき 20-65 癌と腫瘍マーカーとの組合せで正しいのはどれか。

1. 大腸癌 ———— CEA
2. 子宮体癌 ———— SCC
3. 胃 癌 ———— CYFRA
4. 乳 癌 ———— AFP

はき 26-69 ホルネル症候群がみられやすいのはどれか。

1. 食道癌
2. 胃 癌
3. 大腸癌
4. 肝臓癌

【腫瘍】

はき 18-78 「60歳の男性。軽度呼吸困難で来院。腹部膨隆と女性化乳房とがみられ、上部消化管内視鏡検査で食道・胃静脈瘤を認める。血液検査で血小板と白血球に減少が認められ、C型肝炎ウイルス陽性であった。」この疾患に合併する悪性腫瘍の早期発見に有用な腫瘍マーカーはどれか。

1. A F P
2. C E A
3. C A 1 9 - 9
4. P S A

はき 23-77 「45歳の男性。高血圧、頻拍発作の精査で受診。血中ナトリウム、カリウム値は正常範囲内であったが、腹部CTにて右副腎部に腫瘍病変を認めた。」本患者によくみられる所見はどれか。

1. 頭痛
2. 発汗量減少
3. 低血糖
4. 貧血

はき 23-78 「45歳の男性。高血圧、頻拍発作の精査で受診。血中ナトリウム、カリウム値は正常範囲内であったが、腹部CTにて右副腎部に腫瘍病変を認めた。」本疾患の診断に最も有用な測定項目はどれか。

1. 尿中アルブミン
2. 尿中アミラーゼ
3. 血中カテコールアミン
4. 血中CK

はき 28-76 「35歳の女性看護師。皮膚の黄染、全身倦怠感にて受診。針刺しの既往がある。肝炎ウイルスマーカーでは、HCV抗体陽性、HCV-RNA陽性で、他は陰性であった。」本疾患に合併する悪性腫瘍で上昇する腫瘍マーカーはどれか。

1. CA125
2. SCC
3. CEA
4. AFP

【骨腫瘍】

はき 26-55 骨腫瘍で予後が悪いのはどれか。

1. 軟骨肉腫
2. 内軟骨腫
3. 外骨腫
4. 類骨腫

転移性骨腫瘍

骨肉腫

はき 15-67 骨肉腫について誤っている記述はどれか。

1. 骨原性の悪性腫瘍では最も多い。
2. 中年以後の発症が多い。
3. 膝周囲の発症が多い。
4. 疼痛・腫脹・発赤がみられる。

はき 22-74 骨疾患と好発時期との組合せで正しいのはどれか。

1. くる病 ————— 小児期
2. 骨肉腫 ————— 老年期
3. 転移性骨腫瘍 —— 青年期
4. 骨粗鬆症 ————— 思春期

はき 23-66 骨肉腫の初発症状でよくみられるのはどれか。

1. 発熱
2. 運動時痛
3. 腫脹
4. 間欠跛行

骨軟骨腫

【脳腫瘍】

はき 6-74 神経疾患について正しい組合せはどれか。

1. 脳虚血発作 — 脳圧亢進
2. 脊髄空洞症 — 失語症
3. 進行性麻痺 — 血管けいれん
4. 脳腫瘍 — 乳頭浮腫

はき 13-79 脊髄麻酔で可能な手術はどれか。

1. 脳腫瘍摘出術
2. 甲状腺全摘術
3. 上腕骨骨折骨接合術
4. 虫垂切除術

はき 15-80 「25歳の男性。1年前から飲酒量が増加し、食事回数は減少した。1か月前から下腿浮腫、息切れ、膝蓋腱反射の消失がみられ、今朝から意識消失もみられるようになった。」原因と考えられるのはどれか。

1. ビタミン B₁ 欠乏
2. ニコチン酸欠乏
3. ウイルス感染
4. 脳腫瘍

神経膠腫

髄膜腫

下垂体腺腫

神経鞘腫 転移性脳腫瘍

【肺がん】

はき 3-69 肺気腫の発症に最も関与する疾患はどれか。

1. 胸膜炎
2. 気胸
3. 肺癌
4. 慢性気管支炎

はき 5-69 肺癌と関係ないのはどれか。

1. ギラン・バレー症候群
2. ホルネル症候群
3. 上大静脈症候群
4. 嘔声

はき 6-79 肺気腫の原因として適切でないのはどれか。

1. 加齢
2. 肺癌
3. 慢性気管支炎
4. 喫煙

はき 10-71 肺癌の隣接臓器への浸潤による症状でないのはどれか。

1. 嚥下障害
2. 散瞳
3. 嘔声
4. 頸部静脈怒張

はき 10-83 肺癌の診断に有用でないのはどれか。

1. 喀痰検査
2. 気管支ファイバースコープ
3. 肺CT検査
4. スパイログラフィー

はき 19-70 肺癌の所見と浸潤部位との組合せで誤っているのはどれか。

1. 嘔声 — 反回神経
2. 顔面浮腫 — 上大静脈
3. 縮瞳 — 迷走神経
4. 呼吸困難 — 気管支

はき21-71 肺癌の検査法で適切でないのはどれか。

1. 超音波検査
2. CT 検査
3. MRI 検査
4. PET(ポジトロンCT) 検査

はき 25-61 肺癌患者にみられる所見と浸潤部位の組合せで正しいのはどれか。

1. 嗄声 ———— 交感神経
2. 顔面浮腫 —— 上大静脈
3. 縮瞳 ———— 反回神経
4. 腰痛 ———— 横隔神経

はき 26-62 肺癌について正しいのはどれか。

1. 死亡数は女性が多い。
2. 骨転移はまれである。
3. 小細胞癌が最も多い。
4. 受動喫煙は危険因子である。

はき 27-79 「67歳の女性。胸部エックス線写真で右上肺野の末梢側に2cm大の結節影があり、気管支内視鏡検査で肺癌と診断された。」最も可能性が高い組織型はどれか。

1. 腺癌
2. 小細胞癌
3. 大細胞癌
4. 扁平上皮癌

はき 27-80 「67歳の女性。胸部エックス線写真で右上肺野の末梢側に2cm大の結節影があり、気管支内視鏡検査で肺癌と診断された。」遠隔転移を調べる上で必要な検査はどれか。

1. 呼吸機能
2. 冠動脈造影
3. 脳造影 MRI
4. 心エコー

【食道がん】

はき 16-63 食道癌でみられないのはどれか。

1. 嗄声
2. 嚥下性肺炎
3. 脾腫
4. 吐血

はき 16-66 原発性肺癌が頸部交感神経節に浸潤した場合にみられるのはどれか。

1. うっ血乳頭
2. 血 痰
3. 眼裂狭小
4. 女性化乳房

はき 23-79 「70歳の男性。嚥下障害と体重減少で来院し、食道癌と診断された。さらに右眼瞼下垂と縮瞳が認められた。」本疾患について適切なのはどれか。

1. 腺癌が多い。
2. 中部食道に多い。
3. 化学療法は用いられない。
4. 予後は良い。

はき 23-80 「70歳の男性。嚥下障害と体重減少で来院し、食道癌と診断された。さらに右眼瞼下垂と縮瞳が認められた。」本症例にみられる合併症はどれか。

1. 上大静脈症候群
2. 反回神経麻痺
3. 顔面神経麻痺
4. ホルネル症候群

はき 28-72 食道癌について正しいのはどれか。

1. 腺癌が多い。
2. 若年者に多い。
3. 女性に多い。
4. アルコールは危険因子である。

【胃がん】

【肝がん】

はき 8-75 疾患と検査との組合せで誤っているのはどれか。

1. 胆石症 — 超音波検査
2. 急性膵炎 — 内視鏡検査
3. 大腸癌 — 便潜血反応
4. 肝 癌 — C T検査

【胆のうがん・総胆管がん】

【膵がん】

はき 6-76 膵臓癌で適切でない記述はどれか。

1. 体重減少がある。
2. 食欲不振がある。
3. 心窩部痛を起こしやすい。
4. 血清アミラーゼ値が低下する。

はき 13-78 膵癌について誤っている記述はどれか。

1. 膵腺房細胞から発生することが多い。
2. 高齢の男性に多い。
3. 血清腫瘍マーカーとしてCA19-9を用いる。
4. 膵頭部癌では閉塞性黄疸をきたしやすい。

はき 15-74 膵管上皮由来の膵臓癌でみられないのはどれか。

1. 黄疸
2. 背部痛
3. 低血糖
4. CEA陽性

はき 22-62 膵癌について正しいのはどれか。

1. 膵体部に好発する。
2. 内分泌腫瘍が多い。
3. 膵尾部癌では早期に症状が現れる。
4. CA19-9は診断的価値が高い。

はき 27-70 急性膵炎の原因で最も多いのはどれか。

1. 胆石
2. アルコール多飲
3. 脂質異常症
4. 膵癌

はき 27-63 先端巨大症の原因とならないのはどれか。

1. 膵頭部腫瘍
2. 胃ポリープ
3. 下垂体腺腫
4. 気管支カルチノイド

【前立腺がん】

はき 27-60 腎前性急性腎不全の病因はどれか。

1. 広範囲熱傷
2. 前立腺癌
3. 急性糸球体腎炎
4. ミオグロビン尿症

【膀胱がん】

はき 2-87 側腹部の仙痛と血尿とがみられる疾患はどれか。

1. 膀胱炎
2. 急性腎炎
3. 尿路結石症
4. 膀胱腫瘍

【腎腫瘍】（腎細胞がん）

【大腸がん】

はき 8-75 疾患と検査との組合せで誤っているのはどれか。

1. 胆石症 — 超音波検査
2. 急性膵炎 — 内視鏡検査
3. 大腸癌 — 便潜血反応
4. 肝 癌 — C T検査

はき 16-73 鉄欠乏性貧血の原因として適切でないのはどれか。

1. 大腸癌
2. 過多月経
3. 妊 娠
4. 痛 風

【脊髓腫瘍】

はき 20-77 「65歳の男性。3週間前に転倒し、前頭部を強打した。その時以後両上肢のしびれ感と歩行困難が出現している。」最も考えられるのはどれか。

1. 頸椎骨折
2. 頸髄中心性損傷
3. 頸髄腫瘍
4. 腕神経叢障害

【乳がん】

はき 25-60 乳癌について正しいのはどれか。

1. 腫癌は痛みを伴う。
2. 多くはホルモン依存性ではない。
3. 自己検診は推奨されていない。
4. 乳房の外上部の発生が多い。

【子宮がん】

はき 9-85 子宮癌で正しい記述はどれか。

1. 頸癌よりも体癌が多い。
2. 初発症状は腰痛が多い。
3. 組織診断が重要である。
4. ホルモン療法が第一選択である。

【子宮体がん】

はき 19-76 疾患とその特徴で正しい組合せはどれか。

1. 子宮筋腫 — 過多月経
2. 子宮体癌 — ヒトパピローマウイルス
3. 子宮頸癌 — 卵胞ホルモン服用者
4. 卵巣嚢腫 — 月経困難症

【子宮頸がん】

はき 14-84 子宮頸癌の原因と考えられているのはどれか。

1. ヒト乳頭腫ウイルス
2. 単純ヘルペスウイルス
3. 帯状ヘルペスウイルス
4. 風疹ウイルス

はき 19-76 疾患とその特徴で正しい組合せはどれか。

1. 子宮筋腫 — 過多月経
2. 子宮体癌 — ヒトパピローマウイルス
3. 子宮頸癌 — 卵胞ホルモン服用者
4. 卵巣嚢腫 — 月経困難症

【白血病】

はき 2-74 血液疾患と原因との組合せで誤っているのはどれか。

1. 血友病 — 凝固因子欠乏
2. 悪性貧血 — ウイルス感染
3. 白血病 — 放射線被爆
4. 鉄欠乏性貧血 — 子宮筋腫

はき 3-77 疾患と原因との組合せで誤っているのはどれか。

1. 成人T細胞白血病 — ウイルス
2. 血友病 — 血小板減少
3. 粘液水腫 — 甲状腺機能低下
4. 痛 風 — 高尿酸血症

はき 5-72 急性白血病の症状で誤っているのはどれか。

1. 貧 血
2. 出血傾向
3. 白血球増多
4. 血小板増多

はき 6-69 血小板が減少する疾患はどれか。

1. 鉄欠乏性貧血
2. 血友病
3. 再生不良性貧血
4. 慢性白血病

はき 12-76 血液疾患と検査所見との組合せで誤っているのはどれか。

1. 急性白血病 — 白血病裂孔
2. 慢性白血病 — 血小板増加
3. 本態性血小板減少性紫斑病 — ルンベル・レーデ試験陽性
4. 血友病 — プロトロンビン時間延長

はき 13-77 血液疾患と症状との組合せで最も関連の低いのはどれか。

1. 白血病 — 発 熱
2. 悪性リンパ腫 — 貧 血
3. 血小板減少性紫斑病 — リンパ節腫大
4. 血友病 — 関節内出血

はき 14-78 「施術後、患者の血液の付いた鍼を破棄する時に誤って施術者の指に刺さった。」

針刺し事故後、感染率が最も高いのはどれか

1. 成人 T 細胞白血病
2. B 型肝炎
3. C 型肝炎
4. HIV 感染症

はき 18-79 「35 歳の男性。発熱、乾性咳嗽および呼吸困難で入院。胸部エックス線写真で両側の中・下肺野にびまん性すりガラス状陰影を認め、喀痰細胞診でニューモシスチス肺炎と診断された。」

この患者で陽性と考えられるのはどれか。

1. ライノウイルス
2. ヒト免疫不全ウイルス
3. 成人 T 細胞白血病ウイルス I 型
4. 単純ヘルペスウイルス

はき 27-64 続発性高尿酸血症の原因とならないのはどれか。

1. 白血病
2. 腎不全
3. 狭心症
4. 多発性骨髄腫

はき 28-57 白血病についてウイルスが原因で日本の西南地方に多いのはどれか。

1. 成人 T 細胞白血病
2. 慢性骨髄性白血病
3. 急性骨髄性白血病
4. 急性リンパ性白血病

はき 28-61 血液疾患と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血 —— 末梢神経障害
2. 悪性リンパ腫 —— 舌 炎
3. 急性白血病 —— 出血傾向
4. 再生不良性貧血 —— リンパ節腫脹

【悪性リンパ腫】

はき 13-77 血液疾患と症状との組合せで最も関連の低いのはどれか。

1. 白血病 — 発熱
2. 悪性リンパ腫 — 貧血
3. 血小板減少性紫斑病 — リンパ節腫大
4. 血友病 — 関節内出血

はき 20-71 疾患と検査結果との組合せで適切なのはどれか。

1. 関節リウマチ — CRP 値上昇
2. 悪性リンパ腫 — フィラデルフィア染色体陽性
3. 全身性硬化症 — HLA-B51 陽性
4. 悪性貧血 — ビタミン B6 欠乏

はき 21-65 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 再生不良性貧血 —— ハンター舌炎
2. 悪性リンパ腫 —— レイノー現象
3. 皮膚筋炎 —— 陰部潰瘍
4. ベーチェット病 —— 口腔内アフタ性潰瘍

はき 26-64 感染症に罹患しやすいのはどれか。

1. 血友病
2. 悪性リンパ腫
3. 鉄欠乏性貧血
4. 遺伝性球状赤血球症

はき 27-61 悪性リンパ腫について誤っているのはどれか。

1. 有痛性のリンパ節腫脹がみられる。
2. 化学療法が有効である。
3. 発熱がみられる。
4. CRP が陽性となる。

はき 28-61 血液疾患と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血 —— 末梢神経障害
2. 悪性リンパ腫 —— 舌炎
3. 急性白血病 —— 出血傾向
4. 再生不良性貧血 —— リンパ節腫脹

【その他】

はき 15-78 「40 歳の女性。3 か月前から歩行時のふらつき、めまいが出現した。また、2 か月前から左の難聴、耳鳴りと左顔面の感覚が鈍いことを自覚している。四肢の筋力低下はない。」最も考えられる疾患はどれか。

1. メニエール病
2. 突発性難聴
3. 聴神経腫瘍
4. 脊髄空洞症

はき 8-87 認知症が出現しない疾患はどれか。

1. 小脳橋角部腫瘍
2. ハンチントン舞踏病
3. アルツハイマー病
4. ウイルソン病

腫瘍（ 4 問 ）

はき国家試験 東洋医学臨床論

【肺がん】

はき 25-135 「68 歳の男性。主訴は呼吸困難。体を動かすと呼吸が苦しくなる。樽状胸を呈し、痩せている。呼吸機能検査で 1 秒率の低下および胸部エックス線写真で肺野の透過性亢進を認めた。ブリンクマン指数は 960。」本症例の疾患で最も考えられるのはどれか。

1. 気管支拡張症
2. 肺 癌
3. COPD
4. 間質性肺炎

【前立腺がん】

はき 24-123 「74 歳の男性。農業に従事。主訴は頻尿と会陰部の不快感。10 年前から尿が出始めるまでに時間がかかるようになった。就寝後、排尿のため 2 回は覚醒する。PSA 値は正常範囲内である。会陰部の不快感が増強している。血尿、尿混濁は認めず、排尿痛はない。」本症例の疾患で最も適切なのはどれか。

1. 膀胱炎
2. 膀胱結石
3. 前立腺肥大症
4. 前立腺癌の進行期

【子宮がん】

はき 27-132 次の文で示す症例に対して神経を介した治療部位として最も適切なのはどれか。

「52歳の女性。1年前に子宮癌で摘出手術を受けた。転移はない。会陰部の痛みとともに、尿失禁も起こるようになった。」

1. 上後腸骨棘と大転子頂点の midpoint の下方 4cm の点
2. 上後腸骨棘と坐骨結節下端内側を結ぶ線の上から 50～60% の点
3. 仙骨角と大転子頂点の midpoint
4. 尾骨先端と大転子頂点の midpoint

【その他】

はき 18-139 「49歳の男性。左耳痛で始まり、その後に外耳道、耳介周辺に水疱がみられ、同側の顔面が麻痺した。」最も考えられる疾患はどれか。

1. 耳下腺腫瘍
2. ベル麻痺
3. 三叉神経麻痺
4. ラムゼイハント症候群

腫瘍（43問）

あまし国家試験 病理学

【癌】

あ 1-58 正しいのはどれか。

1. 加齢は動脈硬化の素因ではない。
2. 女性は骨粗しょう症にかかりにくい。
3. 日本人は西洋人と比較して大腸癌と乳癌とが多い。
4. 臓器によって疾病に対する抵抗力が異なる。

あ 4-63 遺伝が関与する腫瘍はどれか。

1. 膀胱癌
2. 胆嚢癌
3. ウィルムス腫瘍
4. ユーイング肉腫

あ 6-63 女性に多い癌はどれか。

1. 喉頭癌
2. 甲状腺癌
3. 食道癌
4. 肺癌

あ 7-64 扁平上皮癌の好発部位として誤っているのはどれか。

1. 食道
2. 肺
3. 子宮体部
4. 子宮腔部

あ 11-64 癌の発生頻度の低いのはどれか。

1. 十二指腸
2. 空腸
3. 結腸
4. 直腸

あ 12-64 老年期に発生率が最も高くなるのはどれか。

1. 子宮頸癌
2. 乳癌
3. 前立腺癌
4. 甲状腺癌

あ 13-64 我が国のがん統計について誤っている記述はどれか。

1. 男性がん死亡率は肺癌が最も高い。
2. 女性がん死亡率は子宮癌が最も高い。
3. 前立腺癌罹患率は増加傾向にある。
4. 乳癌罹患率は増加傾向にある。

あ 18-56 男性に比べて女性に高頻度に発生するのはどれか。

1. 膵癌
2. 肝細胞癌
3. 甲状腺癌
4. 食道癌

あ 23-44 腺癌の発生頻度が高いのはどれか。

1. 皮膚
2. 膀胱
3. 食道
4. 大腸

あ 25-38 病理組織診断で確定されるのはどれか。

1. 尿中の結晶の種類
2. 僧房弁逆流の有無
3. 感染症の起炎菌の種類
4. 癌のリンパ節転移の有無

あ 25-43 予防ワクチンがある癌はどれか。

1. 乳 癌
2. 大腸癌
3. 子宮頸癌
4. 甲状腺癌

あ 25-44 扁平上皮癌が最も発生しやすいのはどれか。

1. 肺
2. 胃
3. 肝 臓
4. 膀 胱

あ 26-44 アスベストと関連があるのはどれか。

1. 肺 癌
2. 食道癌
3. 膀胱癌
4. 悪性リンパ腫

【腫瘍】

あ 1-63 上皮性腫瘍に属するのはどれか。

1. 血管腫
2. 脂肪腫
3. 平滑筋腫
4. 腺 腫

あ 2-63 腫瘍について正しい記述はどれか。

1. 良性腫瘍は境界不明瞭である。
2. 悪性上皮性腫瘍を癌腫と呼ぶ。
3. 良性腫瘍は転移をする。
4. 悪性腫瘍は膨張性発育をする。

あ 3-61 腫瘍について正しい記述はどれか。

1. 上皮性悪性腫瘍を肉腫という。
2. 癌腫は実質細胞が胞（蜂）巣を形成する。
3. 肉腫はリンパ行性に転移しやすい。
4. 肉腫は高齢者に好発する。

あ 3-62 悪性腫瘍に属するのはどれか。

1. 白血病
2. 軟骨腫
3. 脂肪腫
4. 神経鞘腫

あ 4-63 遺伝が関与する腫瘍はどれか。

1. 膀胱癌
2. 胆嚢癌
3. ウィルムス腫瘍
4. ユーイング肉腫

あ 4-64 腫瘍が転移しにくい器官はどれか。

1. 肝 臓
2. 肺 臓
3. 骨 髄
4. 心 臓

あ 5-64 腫瘍の組織構造について正しい記述はどれか。

1. 腫瘍は実質と間質とからなる。
2. 良性腫瘍は発生母組織と類似しない。
3. 悪性腫瘍は異型が少ない。
4. 非上皮性腫瘍では実質が蜂巣を形成する。

あ 7-63 腫瘍に含まれないのはどれか。

1. 筋 腫
2. 骨 腫
3. リンパ腫
4. 脾 腫

あ 8-64 腫瘍について誤っている記述はどれか。

1. 蜂巣構造は上皮性腫瘍にみられる。
2. 腫瘍周囲の組織には萎縮がみられる。
3. 早期癌は粘膜内癌である。
4. 腫瘍細胞の大小不同は細胞分裂の異常による。

あ 9-63 良性腫瘍に多くみられるのはどれか。

1. 細胞分裂像
2. 浸潤性発育
3. 分化傾向
4. 転 移

あ 10-64 次の小児の悪性腫瘍で最も頻度の高いのはどれか。

1. 髄芽腫
2. 神経芽腫
3. 肝芽腫
4. 腎芽腫

あ 17-53 血栓を起こしやすい疾患でないのはどれか。

1. 壊血病
2. 悪性腫瘍
3. 敗血症
4. 熱 傷

あ 20-56 我が国の最近の小児の悪性腫瘍で年間発生数が最も多いのはどれか。

1. 骨肉腫
2. 神経芽腫
3. 肝芽腫
4. 白血病

あ 21-56 悪性腫瘍の原因となるウイルスはどれか。

1. 帯状疱疹ウイルス
2. C型肝炎ウイルス
3. 麻疹ウイルス
4. インフルエンザウイルス

あ 22-53 腫瘍と宿主に及ぼす影響との組合せで正しいのはどれか。

1. 早期癌 ————— 悪液質
2. 末期癌 ————— 免疫力低下
3. 脳転移 ————— 頭蓋内圧低下
4. 溶骨性骨転移 —— 低カルシウム血症

あ 24-44 腫瘍について正しいのはどれか。

1. 良性腫瘍では異型度が高い。
2. 間質に富む癌を髄様癌という。
3. 細胞が自律的に増殖する。
4. 進行癌では免疫力が亢進する。

あ 28-44 放射線被曝が関与する悪性腫瘍はどれか。

1. 成人 T 細胞白血病
2. 甲状腺癌
3. 肝細胞癌
4. 子宮頸癌

【骨腫瘍】

転移性骨腫瘍

骨肉腫

あ 20-56 我が国の最近の小児の悪性腫瘍で年間発生数が最も多いのはどれか。

1. 骨肉腫
2. 神経芽腫
3. 肝芽腫
4. 白血病

骨軟骨腫

【脳腫瘍】

神経膠腫

髄膜腫

下垂体腺腫

神経鞘腫

転移性脳腫瘍

【肺がん】

あ 7-58 女性に多い疾患はどれか。

1. 進行性筋ジストロフィー症
2. 全身性エリテマトーデス
3. 血友病
4. 肺 癌

あ 17-51 生活習慣病に属さないのはどれか。

1. 糖尿病
2. 肺 癌
3. 気管支喘息
4. 脳血管障害

【食道がん】

【胃がん】

あ 27-44 胃癌の病期分類に必要な情報はどれか。

1. 遠隔転移の有無
2. 体重減少の有無
3. 免疫力低下の有無
4. 腫瘍マーカー上昇の有無

【肝がん】

【胆のうがん・総胆管がん】

【膵がん】

あ 5-60 溶血性黄疸はどれか。

1. 新生児黄疸
2. C型肝炎による黄疸
3. 胆石症による黄疸
4. 膵頭部癌による黄疸

あ 7-60 黄疸の発生原因として適切でないのはどれか。

1. 胆嚢内結石
2. 膵頭部癌
3. ウイルス性肝炎
4. 不適合輸血

【前立腺がん】

【膀胱がん】

【腎腫瘍】（腎細胞がん）

【大腸がん】

あ 18-53 タール便の原因疾患として最も考えられるのはどれか。

1. 十二指腸潰瘍
2. 潰瘍性大腸炎
3. 直腸癌
4. 痔

あ 26-38 疾患の分類と疾患名の組合せで正しいのはどれか。

1. 遺伝性疾患 —— アザラシ肢症
2. 局所性疾患 —— 痛 風
3. 器質的疾患 —— 大腸癌
4. 特発性疾患 —— 帯状疱疹

【脊髄腫瘍】

【乳がん】

【子宮体がん】

【子宮頸がん】

【白血病】

あ 1-64 ウイルス感染による疾患はどれか。

1. 慢性骨髄性白血病
2. エイズ
3. 横紋筋肉腫
4. 大葉性肺炎

あ 3-62 悪性腫瘍に属するのはどれか。

1. 白血病
2. 軟骨腫
3. 脂肪腫
4. 神経鞘腫

あ 20-56 我が国の最近の小児の悪性腫瘍で年間発生数が最も多いのはどれか。

1. 骨肉腫
2. 神経芽腫
3. 肝芽腫
4. 白血病

あ 28-44 放射線被曝が関与する悪性腫瘍はどれか。

1. 成人 T 細胞白血病
2. 甲状腺癌
3. 肝細胞癌
4. 子宮頸癌

【悪性リンパ腫】

あ 26-44 アスベストと関連があるのはどれか。

1. 肺 癌
2. 食道癌
3. 膀胱癌
4. 悪性リンパ腫

【その他】

腫瘍（ 24 問 ）

あまし国家試験 臨床医学総論

【癌】

あ 11-74 集中治療の適応でない病態はどれか。

1. 重症熱傷
2. 心筋梗塞
3. 重症呼吸不全
4. 末期癌

【腫瘍】

あ 6-65 高血圧を伴う疾患はどれか。

1. 膀胱腫瘍
2. 前立腺肥大
3. 睾丸腫瘍
4. 腎硬化症

あ 6-72 安静時腰痛を特徴とするのはどれか。

1. 脊椎骨の先天奇形
2. 骨粗しょう症
3. 悪性腫瘍の脊椎転移
4. 変形性脊椎症

あ 7-75 脳腫瘍の症状はどれか。

1. 発熱
2. けいれん
3. 冷や汗
4. 頻脈

あ 8-74 悪性腫瘍の治療法ででないのはどれか。

1. 紫外線療法
2. 薬物療法
3. 放射線療法
4. 手術療法

あ 16-58 リンパ節腫脹の原因疾患として適切でないのはどれか。

1. 悪性腫瘍の転移
2. 風疹
3. 結核
4. 慢性膵炎

あ 19-59 悪性腫瘍のリンパ節転移における触診で正しい記述はどれか。

1. 熱感を伴う。
2. 圧痛がある。
3. 表面は整である。
4. 可動性に乏しい。

【骨腫瘍】

転移性骨腫瘍

骨肉腫

骨軟骨腫

【脳腫瘍】

あ 10-70 疾患と検査との組合せで適切でないのはどれか。

1. アルツハイマー病 ————— 髄液検査
2. 多発神経炎 ————— 筋電図
3. 脳腫瘍 ————— MR I
4. てんかん ————— 脳波

あ 14-70 心房細動の合併症はどれか。

1. 脳塞栓
2. 脳血栓
3. 脳出血
4. 脳腫瘍

神経膠腫

髄膜腫

下垂体腺腫

神経鞘腫

転移性脳腫瘍

【肺がん】

あ 12-66 打診で鼓音を呈するのはどれか。

1. 気胸
2. 無気肺
3. 肺炎
4. 肺腫瘍

あ 25-48 呼吸音が減弱するのはどれか。

1. 早期肺癌
2. 気管支炎
3. 緊張性気胸
4. 気管支喘息

【食道がん】

【胃がん】

【肝がん】

【胆のうがん・総胆管がん】

【膵がん】

【前立腺がん】

【膀胱がん】

あ 3-67 血尿をきたしにくい疾患はどれか。

1. 急性糸球体腎炎
2. 前立腺肥大症
3. 尿路結石症
4. 膀胱腫瘍

【腎腫瘍】（腎細胞がん）

【大腸がん】

あ 18-62 血清アミラーゼが上昇する疾患はどれか。

1. 耳下腺炎
2. 肝硬変
3. 心筋梗塞
4. 大腸癌

あ 23-45 大腸がん検診で最初に行うのはどれか。

1. 腹部エックス線検査
2. 下部消化管内視鏡検査
3. 便潜血検査
4. 腫瘍マーカー検査

【脊髄腫瘍】

あ 12-70 安静時痛を特徴とする疾患はどれか。

1. 脊椎先天奇形
2. 変形性脊椎症
3. 骨粗鬆症
4. 脊髄腫瘍

あ 18-59 歩行異常と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. 動揺性歩行 — 多発性神経炎
2. 痙性歩行 — 筋ジストロフィー症
3. 鶏歩 — 胸髄部脊髄腫瘍
4. 突進現象 — パーキンソン病

【乳がん】

【子宮体がん】

【子宮頸がん】

【白血病】

あ 17-61 飲酒に起因する健康障害はどれか。

1. 肝硬変
2. 白血病
3. 膠原病
4. メニエール病

あ 18-63 リンパ節腫脹をきたさないのはどれか。

1. 伝染性単核球症
2. 梅毒
3. 白血病
4. メニエール病

あ 19-63 血中の白血球数が増加する疾患はどれか。

1. 悪性貧血
2. 急性白血病
3. 全身性エリテマトーデス
4. 血友病

【悪性リンパ腫】

あ 20-63 血小板が減少する疾患はどれか。

1. 血友病
2. 巨赤芽球性貧血
3. 再生不良性貧血
4. 悪性リンパ腫

【その他】

あ 15-67 症候と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. ランツ点の圧痛 — 胃潰瘍
2. ブルンベルグ徴候 — 腹腔内腫瘍
3. 腹水 — 肝硬変
4. 蠕動不穏 — 麻痺性イレウス

あ 15-60 回転性めまいがみられないのはどれか。

1. メニエール病
2. 大動脈弁狭窄症
3. 小脳橋角部腫瘍
4. 前庭神経炎

あ 18-68 伝音声難聴で正しい記述はどれか。

1. 老人性の難聴に多い。
2. コルチ器官の異常で生じる。
3. 聴神経腫瘍が原因となる。
4. 補聴器の使用が有用である。

あ 20-66 眼裂狭小がみられるのはどれか。

1. ホルネル症候群
2. 顔面神経麻痺
3. バセドウ病
4. 眼窩内腫瘍

【癌】

あ 3-94 疾患と治療法との組合せで誤っているのはどれか。

1. 癌性疼痛 ————— クモ膜下フェノールブロック
2. 坐骨神経痛 ————— 星状神経節ブロック
3. 五十肩 ————— 肩甲上神経ブロック
4. 三叉神経痛 ————— 上顎神経ブロック

【腫瘍】

あ 22-76 過敏性腸症候群について正しいのはどれか。

1. 悪性腫瘍の合併頻度が高い。
2. 排便により腹痛が軽減する。
3. 血便がみられる。
4. 内視鏡検査で異常がみられる。

あ 23-67 悪性腫瘍を合併しやすいのはどれか。

1. 全身性硬化症
2. ベーチェット病
3. シェーグレン症候群
4. 皮膚筋炎

あ 24-57 回転性めまいがよくみられるのはどれか。

1. 髄膜炎
2. 突発性難聴
3. 小脳脳幹部腫瘍
4. 聴神経腫瘍

【骨腫瘍】

あ 26-56 骨腫瘍と好発時期の組合せで正しいのはどれか。

1. ユーイング肉腫 ————— 老年期
2. 孤立性骨嚢腫 ————— 壮年期
3. 多発性骨髄腫 ————— 青年期
4. 骨肉腫 ————— 成長期

転移性骨腫瘍

骨肉腫

あ 16-83 骨肉腫について誤っている記述はどれか。

1. 高齢者に多い。
2. 膝関節近くに好発する。
3. 局所の腫脹・疼痛を起こす。
4. 下肢切断術が行われる。

あ 19-71 骨肉腫で誤っている記述はどれか。

1. 40 歳代に好発する。
2. 大腿骨下端に多い。
3. 局所の疼痛・腫脹がみられる。
4. エックス線検査で骨皮質の虫食い像を認める。

あ 24-62 骨肉腫について正しいのはどれか。

1. 老年期に好発する。
2. 骨端部に好発する。
3. 手指骨に好発する。
4. 骨幹端に好発する。

あ 26-56 骨腫瘍と好発時期の組合せで正しいのはどれか。

1. ユーイング肉腫 ————— 老年期
2. 孤立性骨嚢腫 ————— 壮年期
3. 多発性骨髄腫 ————— 青年期
4. 骨肉腫 ————— 成長期

あ 27-59 骨肉腫について正しいのはどれか。

1. 好発年齢は 60 歳代である。
2. 初発症状は運動時痛が多い。
3. 好発部位は手指骨である。
4. 化学療法は行わない。

骨軟骨腫

【脳腫瘍】

あ 3-87 坐骨神経痛をきたしにくい疾患はどれか。

1. 悪性腫瘍の骨転移
2. 腰椎椎間板ヘルニア
3. 帯状疱疹
4. 閉塞性動脈硬化症

あ 6-86 心房細動と関係の深い疾患はどれか。

1. 脳腫瘍
2. 脳膜炎
3. 脳塞栓
4. 脳出血

あ 22-85 脳腫瘍の5年生存率で最も予後が悪いのはどれか。

1. 神経膠芽腫
2. 髄膜腫
3. 下垂体腺腫
4. 神経鞘腫

あ 27-70 「30歳の男性。人間ドックで高血圧を指摘された。頭痛、発汗、手指振戦、痩せを認めた。家族歴には特記事項なし。腹部CTでは副腎に腫瘍を認めた。」

本症例の血液検査で高値を示すのはどれか。

1. コルチゾール
2. 副腎皮質刺激ホルモン
3. カテコラミン
4. アルドステロン

あ 27-71 「30歳の男性。人間ドックで高血圧を指摘された。頭痛、発汗、手指振戦、痩せを認めた。家族歴には特記事項なし。腹部CTでは副腎に腫瘍を認めた。」

本症例の症状を起こす物質が合成・分泌される副腎の部位はどれか。

1. 球状層
2. 束状層
3. 網状層
4. 髄質

神経膠腫

髄膜腫

下垂体腺腫

あ 26-78 クッシング病について正しいのはどれか。

1. 低血圧となることが多い。
2. 下垂体腫瘍によって起きる。
3. コルチゾールの減少をきたす。
4. るいそうを呈することが多い。

神経鞘腫

転移性脳腫瘍

【肺がん】

あ 1-80 正しいのはどれか。

1. 肺結核はアデノウイルスの感染による。
2. 気管支喘息は心臓病が原因となる。
3. 肺炎の原因はサルモネラである。
4. 石綿(アスベスト)は肺癌の原因となる。

あ 2-78 肺癌と関係のない症状はどれか。

1. 胸痛
2. 吐血
3. 声がれ
4. 胸水

あ 4-79 肺癌の集団検診で重要な検査はどれか。

1. 赤沈
2. 血液ガス
3. 喀痰細胞診
4. 気管支造影

あ 16-80 喫煙者に起こりやすい健康障害で誤っているのはどれか。

1. 肺癌
2. 慢性気管支炎
3. 鉄欠乏性貧血
4. 冠動脈疾患

あ 17-81 肺癌について誤っている記述はどれか。

1. 我が国の悪性腫瘍による死亡者数の第1位を占める。
2. 喫煙による発癌リスクが高い。
3. ダンピング症候群を併発する。
4. 上大静脈症候群を併発する。

あ 20-80 肺癌の初発症状として適切でないのはどれか。

1. 咳 嗽
2. 鼻 漏
3. 喀 痰
4. 胸 痛

あ 23-78 肺癌の隣接臓器への浸潤により起こるのはどれか。

1. マルフアン症候群
2. ネフローゼ症候群
3. ラムゼー・ハント症候群
4. パンコースト症候群

あ 25-61 肺癌の隣接臓器への浸潤により起こるのはどれか。

1. ダンピング症候群
2. ネフローゼ症候群
3. クッシング症候群
4. パンコースト症候群

あ 26-60 肺癌の治療で使用するのはどれか。

1. 抗菌薬
2. 分子標的薬
3. 気管支拡張薬
4. 抗アレルギー薬

あ 26-64 COPD で最も特徴的なのはどれか。

1. 肺癌の合併は少ない。
2. 呼気が延長する。
3. 1秒率は正常である。
4. 肺活量は低下する。

【食道がん】

あ 5-83 食道癌について適切でない記述はどれか。

1. 体重が減少する。
2. 女性に多い。
3. 食道下部に好発する。
4. 嚥下困難がある。

あ 18-79 食道疾患と症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 食道炎 — 嚥下痛
2. 食道癌 — 体重減少
3. 食道けいれん — 嚥下困難
4. 食道静脈瘤 — 呼吸困難

【胃がん】

あ 2-91 吐血の原因とならない疾患はどれか。

1. 食道静脈瘤
2. 胃 癌
3. 十二指腸潰瘍
4. 潰瘍性大腸炎

あ 21-69 胃癌について正しい記述はどれか。

1. 非上皮性の悪性腫瘍である。
2. シュニツラー転移は血行性転移である。
3. 進行胃癌の分類にはデュークス分類が用いられる。
4. 早期胃癌の5年生存率は90～95%である。

あ 26-71 「22歳の男性。腹痛と体重減少を主訴に来院。5、6年前より時々腹痛がみられていた。腹痛は空腹時痛で食事摂取により改善する。」最も考えられる疾患はどれか。

1. 逆流性食道炎
2. 胃 癌
3. 胃潰瘍
4. 十二指腸潰瘍

【肝がん】

あ 2-89 疾患と所見との組合せで誤っているのはどれか。

1. 慢性肝炎 ————— チアノーゼ
2. 肝 癌 ————— 腹 水
3. 脂肪肝 ————— 肥 満
4. 胆 石 ————— 黄 疸

【胆のうがん・総胆管がん】

【膵がん】

【前立腺がん】

あ 24-60 疾患と検査所見の組合せで正しいのはどれか。

1. 前立腺癌 ————— P S A 高値
2. 関節リウマチ ————— C R P 陰性
3. 尿崩症 ————— バソプレシン高値
4. アトピー性皮膚炎 ————— 血清 IgE 低値

【膀胱がん】

【腎腫瘍】（腎細胞がん）

【大腸がん】

あ 4-82 吐血を起こす疾患はどれか。

1. 十二指腸憩室炎
2. 結腸癌
3. 潰瘍性大腸炎
4. 食道静脈瘤

あ 17-80 潰瘍性大腸炎で正しいのはどれか。

1. 回盲部に好発する。
2. 大量の水様性下痢をみる。
3. 家族性に発症する。
4. 大腸癌の危険因子である。

あ 19-77 大腸癌で正しい記述はどれか。

1. 扁平上皮癌が多い。
2. 上行結腸側の方が症状が出やすい。
3. 肝転移を起こしやすい。
4. 進行度の判定にボルマン分類を用いる。

【脊髄腫瘍】

【乳がん】

あ 1-79 乳癌で正しいのはどれか。

1. 未婚者より既婚者に多い。
2. 腫瘍は無痛性である。
3. 皮膚癌の一種である。
4. 転移しない。

あ 12-80 乳癌の自己チェックで適切でないのはどれか。

1. 月経直前の実施
2. 皮膚のえくぼ様陥凹の有無
3. 乳頭位置の左右非対称の有無
4. 血性分泌物の有無

あ 26-61 乳癌について正しいのはどれか。

1. マンモグラフィは推奨されている。
2. 血性分泌を伴うことが多い。
3. ホルモン非依存性が多い。
4. 乳輪付近の発生が多い。

【子宮体がん】

あ 7-77 月経痛を起こしやすい疾患はどれか。

1. 子宮内膜症
2. 子宮後転症
3. 慢性付属器炎
4. 子宮体癌

【子宮頸がん】

あ 6-91 性器出血を起こさない疾患はどれか。

1. 子宮内膜症
2. 卵巣嚢腫
3. 子宮腔部びらん
4. 子宮頸癌

あ 20-78 子宮頸癌について正しいのはどれか。

1. 子宮癌全体の 50～55%である。
2. 閉経後に多い。
3. ヘルペスウイルスとの関連が示唆されている。
4. 扁平上皮癌が多い。

あ 24-56 子宮頸癌について正しいのはどれか。

1. 閉経後に多い。
2. ヒト乳頭腫ウイルスとの関連がある。
3. 腺癌が多い。
4. C E Aが腫瘍マーカーとして適している。

【白血病】

あ 1-93 慢性白血病で誤っているのはどれか。

1. 骨髄性とリンパ性とがある。
2. 肝腫と脾腫がともにみられる。
3. 出血傾向がみられる。
4. 予後は良好である。

あ 11-85 急性白血病でみられないのはどれか。

1. 皮下出血
2. 脾腫
3. 病的骨折
4. 発熱

あ 16-86 白血病の症状でないのはどれか。

1. 振戦
2. 発熱
3. 皮下出血
4. リンパ節腫脹

あ 19-83 血液疾患とその症状について正しい組合せはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血 ————— 紫 斑
2. 悪性リンパ腫 ————— ハンター舌炎
3. 白血病 ————— 出血傾向
4. 再生不良性貧血 ————— リンパ節腫脹

あ 20-81 慢性骨髄性白血病について誤っている記述はどれか。

1. Bリンパ球が腫瘍化したものである。
2. 脾腫がみられる。
3. フィラデルフィア染色体が陽性である。
4. 骨髄移植が行われる。

あ 23-56 疾患と所見の組合せで正しいのはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血 ————— スプーン状爪
2. 急性白血病 ————— 関節内血腫
3. 特発性血小板減少性紫斑病 ——— 脾 腫
4. 血友病 ————— リンパ節腫大

【悪性リンパ腫】

あ 19-83 血液疾患とその症状について正しい組合せはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血 ————— 紫 斑
2. 悪性リンパ腫 ————— ハンター舌炎
3. 白血病 ————— 出血傾向
4. 再生不良性貧血 ————— リンパ節腫脹

【その他】

あ 18-89 メニエール病で正しい記述はどれか。

1. 伝音性難聴を伴う。
2. 眩暈発作は長期間持続する。
3. 眩暈発作時には眼振を生じる。
4. 聴神経腫瘍が原因である。

【前立腺がん】

あ 3-148 排尿異常をきたす疾患で施術が適応となるのはどれか。

1. 腎盂腎炎
2. 急性尿道炎
3. 前立腺癌
4. 夜尿症

【乳がん】

あ 20-139 「56歳の女性。2年前に右乳癌で同側の全乳腺切除術と腋窩リンパ節の郭清を受けた。胸筋は温存されている。上腕の周径は右27cm、左24cm。右の腋窩部から上腕後側部の重だるさを訴えて来院した。」術後の障害で最も生じやすい所見はどれか。

1. 肩関節の強直
2. 上肢のむくみ
3. 大胸筋の筋力低下
4. 上肢の皮膚感覚の障害

【その他】

あ 14-133 めまいの原因疾患で全身あん摩が適切なのはどれか。

1. 脳動脈硬化症
2. 聴神経腫瘍
3. 更年期障害
4. 内耳炎

腫瘍 (44問)

はき国家試験 病理学

【癌】

はき 28-44 腺癌の発生頻度が最も高いのはどれか。

1. 皮膚
2. 舌
3. 子宮頸部
4. 膵臓

はき 27-44 扁平上皮癌が最も発生しやすいのはどれか。

1. 舌
2. 胃
3. 胆嚢
4. 膵臓

はき 24-44 癌が最も転移しやすい臓器はどれか。

1. 心臓
2. 脾臓
3. 肝臓
4. 腎臓

はき 23-43 癌の病期分類の決定に必要な項目はどれか。

1. 悪液質
2. 腫瘍マーカー
3. 組織型
4. リンパ節転移

はき 23-44 癌と腫瘍マーカーの組合せで最も適切なのはどれか。

1. 肝細胞癌 ————— HCG
2. 胃癌 ————— CEA
3. 食道癌 ————— CA19-9
4. 肺癌 ————— PSA

はき 22-49 扁平上皮癌が好発するのはどれか。

1. 食道
2. 胃
3. 小腸
4. 大腸

はき 21-50 放射性ヨウ素の被曝によって最も生じやすい腫瘍はどれか。

1. 胃癌
2. 肺癌
3. 前立腺癌
4. 甲状腺癌

はき 20-51 癌と前癌病変との組合せで正しいのはどれか。

1. 子宮頸癌 ———— 子宮頸部異形成
2. 胃癌 ———— 胃潰瘍
3. 乳癌 ———— 乳腺症
4. 前立腺癌 ———— 前立腺肥大

はき 17-51 男性よりも女性に多い癌はどれか。

1. 膵臓癌
2. 胆嚢癌
3. 肝臓癌
4. 食道癌

はき 9-56 ウイルスが関与しない腫瘍はどれか。

1. 腎癌
2. 肝細胞癌
3. 成人T細胞白血病
4. バーキットリンパ腫

はき 8-56 腫瘍の間質について誤っている記述はどれか。

1. 肝細胞癌の間質は毛細血管からなる。
2. 硬性癌には膠原線維が多い。
3. 肉腫では腫瘍細胞と間質の境界が明瞭である。
4. 浸潤性発育を示すのは悪性腫瘍である。

はき 7-53 黒色の下血をきたした患者がいる。原因疾患はどれか。

1. 直腸癌
2. 潰瘍性大腸炎
3. 虫垂炎
4. 胃・十二指腸潰瘍

はき 7-55 腺癌の好発部位として誤っているのはどれか。

1. 肺
2. 胃
3. 結腸
4. 子宮腔部

はき 5-55 腫瘍とその好発部位との組合せで正しいのはどれか。

1. 嚢胞腺腫 ————— 卵巣
2. 乳頭腫 ————— 肝臓
3. 扁平上皮癌 ———— 大腸
4. 腺癌 ————— 膀胱

はき 5-56 上皮内癌が発生する部位はどれか。

1. 胃
2. 結腸
3. 胆嚢
4. 子宮腔部

はき 4-56 ウイルスが原因となる腫瘍はどれか。

1. ウィルムス腫瘍
2. 成人T細胞白血病
3. 移行上皮癌
4. ユーイング肉腫

はき 1-55 非上皮性腫瘍に属するのはどれか。

1. 乳頭腫
2. 腺腫
3. 腺癌
4. 線維腫

【腫瘍】

はき 1-56 悪性腫瘍について正しいのはどれか。

1. 増殖が遅い。
2. 転移する。
3. 膨張性発育をする。
4. 異型性が弱い。

はき 2-55 腫瘍について正しい記述はどれか。

1. 非上皮性腫瘍は蜂巢構造を示す。
2. 上皮性腫瘍は実質と間質との境界が不鮮明である。
3. 悪性腫瘍は異型性が強い。
4. 良性腫瘍は浸潤性に発育する。

はき 3-54 腫瘍について正しい記述はどれか。

1. 線維腫は悪性非上皮性腫瘍である。
2. 乳頭腫は良性非上皮性腫瘍である。
3. 血管肉腫は悪性上皮性腫瘍である。
4. 腺腫は良性上皮性腫瘍である。

はき 4-55 腫瘍に属さないのはどれか。

1. 腺腫
2. カルチノイド
3. 肉芽腫
4. ホジキン病

はき 6-55 腫瘍とその好発部位との組合せで誤っているのはどれか。

1. 乳頭腫 ——— 膀胱
2. 腺腫 ——— 大腸
3. 横紋筋腫 ——— 子宮
4. 脂肪腫 ——— 皮下組織

はき 10-55 化生について誤っているのはどれか。

1. 腫瘍性変化
2. 組織適応
3. 上皮間変化
4. 形態変化

はき 12-56 腫瘍の壊死によって引き起こされる病態はどれか。

1. 発熱
2. 悪液質
3. 免疫異常
4. 内分泌異常

はき 14-53 悪性腫瘍細胞の特徴として誤っている記述はどれか。

1. 核分裂像が多い。
2. 細胞質に対する核の面積比 (N/C) が小さい。
3. 極性を欠く。
4. 核小体が明瞭である。

はき 15-50 小児に好発する腫瘍でないのはどれか。

1. 神経芽腫
2. 髄膜腫
3. 骨肉腫
4. 白血病

はき 15-51 悪性腫瘍の特徴として誤っているのはどれか。

1. 浸潤性発育を示す。
2. 境界が明瞭である。
3. 転移を起こす。
4. 出血壊死を伴う。

はき 16-51 腫瘍マーカーはどれか。

1. α フェトプロテイン
2. 組織適合抗原
3. ヒスタミン
4. シクロオキシゲナーゼ

はき 18-51 腫瘍の良性・悪性を判定するための所見として適切でないのはどれか。

1. 腫瘍病変境界の性状
2. 転移の有無
3. 核分裂像の頻度
4. 蜂窩状構造の有無

はき 19-50 自己免疫疾患と合併病変との組合せで正しいのはどれか。

1. 全身性エリテマトーデス ————— 糸球体腎炎
2. 関節リウマチ ————— 内臓悪性腫瘍
3. 橋本病 ————— アフタ性口内炎
4. 進行性全身性硬化症 ————— 胆汁うっ滞

はき 20-46 最も頻度の高い塞栓はどれか。

1. 腫瘍
2. 血栓
3. 空気
4. 脂肪

はき 25-44 上皮性腫瘍はどれか。

1. 乳頭腫
2. 線維腫
3. 膠芽腫
4. 白血病

【骨腫瘍】

転移性骨腫瘍

骨肉腫

骨軟骨腫

【脳腫瘍】

神経膠腫

髄膜腫

下垂体腺腫

神経鞘腫

転移性脳腫瘍

【肺がん】

【胃がん】

はき 21-45 疾病と一般素因との組合せで最も適切なのはどれか。

1. 網膜芽腫 ————— 高齢者に多い。
2. 全身性エリテマトーデス ——— 男性に多い。
3. 胃癌 ————— 欧米人に多い。
4. 結核症 ————— 肺に多い。

はき 7-56 胃癌の転移と関係ないのはどれか。

1. クルーケンベルグ
2. リード・ステルンベルグ
3. シュニッツラー
4. ウィルヒョウ

【肝がん】

はき 10-56 肝臓の悪性腫瘍で誤っている記述はどれか。

1. 転移性腫瘍が多い。
2. 原発性腫瘍の大部分は肝細胞癌である。
3. 中心性壊死は肝細胞癌の特徴である。
4. 日本人の肝細胞癌の大部分はC型肝炎ウイルスの持続感染がある。

【胆のうがん・総胆管がん】

【膵がん】

【前立腺がん】

【膀胱がん】

【腎腫瘍】（腎細胞がん）

【大腸がん】

【脊髄腫瘍】

【乳がん】

はき 24-38 乳癌の確定診断に最も重要なのはどれか。

1. 触診
2. 超音波検査
3. エックス線検査
4. 生検

【子宮体がん】

【子宮頸がん】

【白血病】

はき 2-51 病原体と疾患との組合せで誤っているのはどれか。

1. ウイルス ————— 成人T細胞白血病
2. 細菌 ————— 結核
3. **リケッチア ————— 破傷風**
4. 原虫 ————— マラリア

はき 3-56 疾患と染色体異常との組合せで正しいのはどれか。

1. クラインフェルター症候群 ————— XO
2. ターナー症候群 ————— XXY
3. **慢性骨髄性白血病 ————— フィラデルフィア染色体**
4. ダウン症候群 ————— G22トリソミー

はき 4-56 ウイルスが原因となる腫瘍はどれか。

1. ウィルムス腫瘍
2. **成人T細胞白血病**
3. 移行上皮癌
4. ユーイング肉腫

はき 9-56 ウイルスが関与しない腫瘍はどれか。

1. **腎癌**
2. 肝細胞癌
3. 成人T細胞白血病
4. バーキットリンパ腫

はき 15-50 小児に好発する腫瘍でないのはどれか。

1. 神経芽腫
2. **髄膜腫**
3. 骨肉腫
4. 白血病

はき 18-45 ウイルス感染症でないのはどれか。

1. 伝染性単核球症
2. C型肝炎
3. **クロイツフェルト・ヤコブ病**
4. 成人T細胞白血病

はき 25-44 上皮性腫瘍はどれか。

1. 乳頭腫
2. 線維腫
3. 膠芽腫
4. 白血病

はき 26-44 生命予後が良好なのはどれか。

1. 線維腫
2. 中皮腫
3. 膠芽腫
4. 白血病

【悪性リンパ腫】

腫瘍 (26 問)

はき 国家試験 臨床医学総論

【癌】

はき 2-60 顔貌と疾患との組合せで誤っているのはどれか。

1. 無欲性顔貌 ————— うつ病
2. ヒポクラテス顔貌 ————— 癌末期
3. 仮面様顔貌 ————— 神経症
4. 満月様顔貌 ————— クッシング症候群

はき 14-59 クールボアジェ徴候がみられるのはどれか。

1. 食道癌
2. 胃癌
3. 肝細胞癌
4. 膝頭部癌

【腫瘍】

はき 3-62 圧痛を特徴とするリンパ節腫脹がみられる疾患はどれか。

1. 化膿性リンパ節炎
2. 結核性リンパ節炎
3. 悪性リンパ腫
4. 転移性悪性腫瘍

【骨腫瘍】

転移性骨腫瘍

骨肉腫

骨軟骨腫

【脳腫瘍】

はき 9-60 脳腫瘍でみられる頭痛はどれか。

1. 筋収縮性頭痛
2. 牽引性頭痛
3. 片頭痛
4. 群発頭痛

神経膠腫

髄膜腫

下垂体腺腫

はき 17-56 無月経の原因として適切でないのはどれか。

1. 妊娠
2. 下垂体腫瘍
3. 神経性食思不振症
4. 子宮内膜症

神経鞘腫

転移性脳腫瘍

【肺がん】

はき 16-56 発熱がみられないのはどれか。

1. 結核
2. 甲状腺機能低下症
3. 皮膚筋炎
4. 肺癌

はき 27-50 咳・痰について正しいのはどれか。

1. 痰を伴う咳を乾性咳嗽という。
2. 気管支喘息の発作時は咳・痰は通常ない。
3. 血痰が出ても少量なら肺癌は考えない。
4. 誤嚥時の咳・痰は防御反応の一つである。

【胃がん】

はき 1-63 高熱とともに右季肋部痛を訴える場合にまず疑うべき疾患はどれか。

1. 胃 癌
2. 急性胆嚢炎
3. 膵 癌
4. 大動脈瘤破裂

はき 19-54 コーヒー残渣様の嘔吐がみられるのはどれか。

1. クロウン病
2. 胃 癌
3. 大腸癌
4. 潰瘍性大腸炎

【肝がん】

はき 1-59 血清中のAST (GOT) が上昇しないのはどれか。

1. 急性肝炎
2. 肝 癌
3. 胃 炎
4. 心筋梗塞

【胆のうがん・総胆管がん】

はき 23-55 胆嚢癌について正しいのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 胆石の合併は少ない。
3. 左季肋部痛が多い。
4. AFPの上昇がみられる。

【膵がん】

はき 1-63 高熱とともに右季肋部痛を訴える場合にまず疑うべき疾患はどれか。

1. 胃 癌
2. 急性胆嚢炎
3. 膵 癌
4. 大動脈瘤破裂

はき 14-68 40歳の肥満女性。右季肋部の痙痛と発熱、黄疸が認められた。最も考えられるのはどれか。

1. 膵尾部癌
2. 総胆管結石
3. 腎結石
4. 肝硬変

はき 18-56 黄疸をきたす疾患で尿中ビリルビンが上昇しないのはどれか。

1. 胆石症
2. 膵臓癌
3. 急性肝炎
4. 溶血性貧血

【前立腺がん】

【膀胱がん】

【腎腫瘍】（腎細胞がん）

【大腸がん】

はき 19-54 コーヒー残渣様の嘔吐がみられるのはどれか。

1. クロウン病
2. 胃癌
3. 大腸癌
4. 潰瘍性大腸炎

はき 22-54 吐血の原因となるのはどれか。

1. 大腸癌
2. クロウン病
3. 気管支拡張症
4. 胃潰瘍

【脊髄腫瘍】

【乳がん】

【子宮体がん】

【子宮頸がん】

【白血病】

はき 3-60 出血傾向がみられない疾患はどれか。

1. 急性骨髄性白血病
2. 鉄欠乏性貧血
3. 壊血病
4. 肝硬変

はき 4-68 骨髄移植の適応となる疾患はどれか。

1. 悪性貧血
2. 白血病
3. 血友病
4. エイズ

はき 5-58 白血球が増えない疾患はどれか。

1. 急性腎盂腎炎
2. 急性虫垂炎
3. 急性白血病
4. インフルエンザ

はき 10-61 脾腫をきたさない疾患はどれか。

1. 慢性骨髄性白血病
2. 悪性リンパ腫
3. 自己免疫性溶血性貧血
4. 血友病

はき 10-67 ネフローゼ症候群にみられないのはどれか。

1. 高度の蛋白尿
2. 高度白血病
3. 高脂血症
4. 浮腫

はき 22-57 リンパ節の圧痛がよくみられるのはどれか。

1. 悪性リンパ腫
2. 白血病
3. 伝染性単核球症
4. 化膿性リンパ節炎

【悪性リンパ腫】

はき 3-62 圧痛を特徴とするリンパ節腫脹がみられる疾患はどれか。

1. 化膿性リンパ節炎
2. 結核性リンパ節炎
3. 悪性リンパ腫
4. 転移性悪性腫瘍

はき 10-61 脾腫をきたさない疾患はどれか。

1. 慢性骨髄性白血病
2. 悪性リンパ腫
3. 自己免疫性溶血性貧血
4. 血友病

はき 17-57 易感染性に注意すべき疾患はどれか。

1. 高血圧症
2. 痛風
3. 悪性リンパ腫
4. 高脂血症

はき 22-57 リンパ節の圧痛がよくみられるのはどれか。

1. 悪性リンパ腫
2. 白血病
3. 伝染性単核球症
4. 化膿性リンパ節炎

【その他】

はき 22-53 血漿膠質浸透圧低下による浮腫がみられるのはどれか。

1. うっ血性心不全
2. 肝硬変
3. 癌性胸膜炎
4. フィラリア症

【癌】

はき 10-77 悪性腫瘍による痛みの治療で正しい組合せはどれか。

1. 上顎癌 — くも膜下腔ブロック
2. 舌癌 — 顔面神経ブロック
3. 子宮癌 — 閉鎖神経ブロック
4. 膵臓癌 — 腹腔神経叢ブロック

はき 11-79 疾患と危険因子との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝細胞癌 — ウイルス感染
2. 喉頭癌 — 雑菌感染
3. 大腸癌 — 高繊維食摂取
4. 肺癌 — 飲酒

はき 20-65 癌と腫瘍マーカーとの組合せで正しいのはどれか。

1. 大腸癌 ——— CEA
2. 子宮体癌 ——— SCC
3. 胃癌 ——— CYFRA
4. 乳癌 ——— AFP

はき 26-69 ホルネル症候群がみられやすいのはどれか。

1. 食道癌
2. 胃癌
3. 大腸癌
4. 肝臓癌

【腫瘍】

はき 18-78 「60歳の男性。軽度呼吸困難で来院。腹部膨隆と女性化乳房とがみられ、上部消化管内視鏡検査で食道・胃静脈瘤を認める。血液検査で血小板と白血球に減少が認められ、C型肝炎ウイルス陽性であった。」この疾患に合併する悪性腫瘍の早期発見に有用な腫瘍マーカーはどれか。

1. AFP
2. CEA
3. CA19-9
4. PSA

はき 23-77 「45歳の男性。高血圧、頻拍発作の精査で受診。血中ナトリウム、カリウム値は正常範囲内であったが、腹部CTにて右副腎部に腫瘍病変を認めた。」本患者によくみられる所見はどれか。

1. 頭痛
2. 発汗量減少
3. 低血糖
4. 貧血

はき 23-78 「45歳の男性。高血圧、頻拍発作の精査で受診。血中ナトリウム、カリウム値は正常範囲内であったが、腹部CTにて右副腎部に腫瘍病変を認めた。」本疾患の診断に最も有用な測定項目はどれか。

1. 尿中アルブミン
2. 尿中アミラーゼ
3. 血中カテコールアミン
4. 血中CK

はき 28-76 「35歳の女性看護師。皮膚の黄染、全身倦怠感にて受診。針刺しの既往がある。肝炎ウイルスマーカーでは、HCV抗体陽性、HCV-RNA陽性で、他は陰性であった。」本疾患に合併する悪性腫瘍で上昇する腫瘍マーカーはどれか。

1. CA125
2. SCC
3. CEA
4. AFP

【骨腫瘍】

はき 26-55 骨腫瘍で予後が悪いのはどれか。

1. 軟骨肉腫
2. 内軟骨腫
3. 外骨腫
4. 類骨腫

転移性骨腫瘍

骨肉腫

はき 15-67 骨肉腫について誤っている記述はどれか。

1. 骨原性の悪性腫瘍では最も多い。
2. 中年以後の発症が多い。
3. 膝周囲の発症が多い。
4. 疼痛・腫脹・発赤がみられる。

はき 22-74 骨疾患と好発時期との組合せで正しいのはどれか。

1. くる病 ———— 小児期
2. 骨肉腫 ———— 老年期
3. 転移性骨腫瘍 —— 青年期
4. 骨粗鬆症 ———— 思春期

はき 23-66 骨肉腫の初発症状でよくみられるのはどれか。

1. 発熱
2. 運動時痛
3. 腫脹
4. 間欠跛行

骨軟骨腫

【脳腫瘍】

はき 6-74 神経疾患について正しい組合せはどれか。

1. 脳虚血発作 — 脳圧亢進
2. 脊髄空洞症 — 失語症
3. 進行性麻痺 — 血管けいれん
4. 脳腫瘍 — 乳頭浮腫

はき 13-79 脊髄麻酔で可能な手術はどれか。

1. 脳腫瘍摘出術
2. 甲状腺全摘術
3. 上腕骨骨折骨接合術
4. 虫垂切除術

はき 15-80 「25歳の男性。1年前から飲酒量が増加し、食事回数は減少した。1か月前から下腿浮腫、息切れ、膝蓋腱反射の消失がみられ、今朝から意識消失もみられるようになった。」原因と考えられるのはどれか。

1. ビタミンB₁欠乏
2. ニコチン酸欠乏
3. ウイルス感染
4. 脳腫瘍

神経膠腫

髄膜腫

下垂体腺腫

神経鞘腫 転移性脳腫瘍

【肺がん】

はき 3-69 肺気腫の発症に最も関与する疾患はどれか。

1. 胸膜炎
2. 気胸
3. 肺癌
4. 慢性気管支炎

はき 5-69 肺癌と関係ないのはどれか。

1. ギラン・バレー症候群
2. ホルネル症候群
3. 上大静脈症候群
4. 嗄声

はき 6-79 肺気腫の原因として適切でないのはどれか。

1. 加齢
2. 肺癌
3. 慢性気管支炎
4. 喫煙

はき 10-71 肺癌の隣接臓器への浸潤による症状でないのはどれか。

1. 嚥下障害
2. 散瞳
3. 嗄声
4. 頸部静脈怒張

はき 10-83 肺癌の診断に有用でないのはどれか。

1. 喀痰検査
2. 気管支ファイバースコープ
3. 肺CT検査
4. スパイログラフィー

はき 19-70 肺癌の所見と浸潤部位との組合せで誤っているのはどれか。

1. 嗄声 — 反回神経
2. 顔面浮腫 — 上大静脈
3. 縮瞳 — 迷走神経
4. 呼吸困難 — 気管支

はき21-71 肺癌の検査法で適切でないのはどれか。

1. 超音波検査
2. CT 検査
3. MRI 検査
4. PET(ポジトロンCT) 検査

はき 25-61 肺癌患者にみられる所見と浸潤部位の組合せで正しいのはどれか。

1. 嗄声 ———— 交感神経
2. 顔面浮腫 —— 上大静脈
3. 縮瞳 ———— 反回神経
4. 腰痛 ———— 横隔神経

はき 26-62 肺癌について正しいのはどれか。

1. 死亡数は女性が多い。
2. 骨転移はまれである。
3. 小細胞癌が最も多い。
4. 受動喫煙は危険因子である。

はき 27-79 「67歳の女性。胸部エックス線写真で右上肺野の末梢側に2cm大の結節影があり、気管支内視鏡検査で肺癌と診断された。」最も可能性が高い組織型はどれか。

1. 腺癌
2. 小細胞癌
3. 大細胞癌
4. 扁平上皮癌

はき 27-80 「67歳の女性。胸部エックス線写真で右上肺野の末梢側に2cm大の結節影があり、気管支内視鏡検査で肺癌と診断された。」遠隔転移を調べる上で必要な検査はどれか。

1. 呼吸機能
2. 冠動脈造影
3. 脳造影MRI
4. 心エコー

【食道がん】

はき 16-63 食道癌でみられないのはどれか。

1. 嗄声
2. 嚥下性肺炎
3. 脾腫
4. 吐血

はき 16-66 原発性肺癌が頸部交感神経節に浸潤した場合にみられるのはどれか。

1. うっ血乳頭
2. 血 痰
3. 眼裂狭小
4. 女性化乳房

はき 23-79 「70歳の男性。嚥下障害と体重減少で来院し、食道癌と診断された。さらに右眼瞼下垂と縮瞳が認められた。」本疾患について適切なのはどれか。

1. 腺癌が多い。
2. 中部食道に多い。
3. 化学療法は用いられない。
4. 予後は良い。

はき 23-80 「70歳の男性。嚥下障害と体重減少で来院し、食道癌と診断された。さらに右眼瞼下垂と縮瞳が認められた。」本症例にみられる合併症はどれか。

1. 上大静脈症候群
2. 反回神経麻痺
3. 顔面神経麻痺
4. ホルネル症候群

はき 28-72 食道癌について正しいのはどれか。

1. 腺癌が多い。
2. 若年者に多い。
3. 女性に多い。
4. アルコールは危険因子である。

【胃がん】

【肝がん】

はき 8-75 疾患と検査との組合せで誤っているのはどれか。

1. 胆石症 — 超音波検査
2. 急性膵炎 — 内視鏡検査
3. 大腸癌 — 便潜血反応
4. 肝 癌 — C T検査

【胆のうがん・総胆管がん】

【膵がん】

はき 6-76 膵臓癌で適切でない記述はどれか。

1. 体重減少がある。
2. 食欲不振がある。
3. 心窩部痛を起こしやすい。
4. 血清アミラーゼ値が低下する。

はき 13-78 膵癌について誤っている記述はどれか。

1. 膵腺房細胞から発生することが多い。
2. 高齢の男性に多い。
3. 血清腫瘍マーカーとしてCA19-9を用いる。
4. 膵頭部癌では閉塞性黄疸をきたしやすい。

はき 15-74 膵管上皮由来の膵臓癌でみられないのはどれか。

1. 黄疸
2. 背部痛
3. 低血糖
4. CEA陽性

はき 22-62 膵癌について正しいのはどれか。

1. 膵体部に好発する。
2. 内分泌腫瘍が多い。
3. 膵尾部癌では早期に症状が現れる。
4. CA19-9は診断的価値が高い。

はき 27-70 急性膵炎の原因で最も多いのはどれか。

1. 胆石
2. アルコール多飲
3. 脂質異常症
4. 膵癌

はき 27-63 先端巨大症の原因とならないのはどれか。

1. 膵頭部腫瘍
2. 胃ポリープ
3. 下垂体腺腫
4. 気管支カルチノイド

【前立腺がん】

はき 27-60 腎前性急性腎不全の病因はどれか。

1. 広範囲熱傷
2. 前立腺癌
3. 急性糸球体腎炎
4. ミオグロビン尿症

【膀胱がん】

はき 2-87 側腹部の仙痛と血尿とがみられる疾患はどれか。

1. 膀胱炎
2. 急性腎炎
3. 尿路結石症
4. 膀胱腫瘍

【腎腫瘍】（腎細胞がん）

【大腸がん】

はき 8-75 疾患と検査との組合せで誤っているのはどれか。

1. 胆石症 — 超音波検査
2. 急性膵炎 — 内視鏡検査
3. 大腸癌 — 便潜血反応
4. 肝 癌 — C T検査

はき 16-73 鉄欠乏性貧血の原因として適切でないのはどれか。

1. 大腸癌
2. 過多月経
3. 妊 娠
4. 痛 風

【脊髓腫瘍】

はき 20-77 「65歳の男性。3週間前に転倒し、前頭部を強打した。その時以後両上肢のしびれ感と歩行困難が出現している。」最も考えられるのはどれか。

1. 頸椎骨折
2. 頸髄中心性損傷
3. 頸髄腫瘍
4. 腕神経叢障害

【乳がん】

はき 25-60 乳癌について正しいのはどれか。

1. 腫癌は痛みを伴う。
2. 多くはホルモン依存性ではない。
3. 自己検診は推奨されていない。
4. 乳房の外上部の発生が多い。

【子宮がん】

はき 9-85 子宮癌で正しい記述はどれか。

1. 頸癌よりも体癌が多い。
2. 初発症状は腰痛が多い。
3. 組織診断が重要である。
4. ホルモン療法が第一選択である。

【子宮体がん】

はき 19-76 疾患とその特徴で正しい組合せはどれか。

1. 子宮筋腫 — 過多月経
2. 子宮体癌 — ヒトパピローマウイルス
3. 子宮頸癌 — 卵胞ホルモン服用者
4. 卵巣嚢腫 — 月経困難症

【子宮頸がん】

はき 14-84 子宮頸癌の原因と考えられているのはどれか。

1. ヒト乳頭腫ウイルス
2. 単純ヘルペスウイルス
3. 帯状ヘルペスウイルス
4. 風疹ウイルス

はき 19-76 疾患とその特徴で正しい組合せはどれか。

1. 子宮筋腫 — 過多月経
2. 子宮体癌 — ヒトパピローマウイルス
3. 子宮頸癌 — 卵胞ホルモン服用者
4. 卵巣嚢腫 — 月経困難症

【白血病】

はき 2-74 血液疾患と原因との組合せで誤っているのはどれか。

1. 血友病 — 凝固因子欠乏
2. 悪性貧血 — ウイルス感染
3. 白血病 — 放射線被爆
4. 鉄欠乏性貧血 — 子宮筋腫

はき 3-77 疾患と原因との組合せで誤っているのはどれか。

1. 成人T細胞白血病 — ウイルス
2. 血友病 — 血小板減少
3. 粘液水腫 — 甲状腺機能低下
4. 痛風 — 高尿酸血症

はき 5-72 急性白血病の症状で誤っているのはどれか。

1. 貧血
2. 出血傾向
3. 白血球増多
4. 血小板増多

はき 6-69 血小板が減少する疾患はどれか。

1. 鉄欠乏性貧血
2. 血友病
3. 再生不良性貧血
4. 慢性白血病

はき 12-76 血液疾患と検査所見との組合せで誤っているのはどれか。

1. 急性白血病 — 白血病裂孔
2. 慢性白血病 — 血小板増加
3. 本態性血小板減少性紫斑病 — ルンベル・レーデ試験陽性
4. 血友病 — プロトロンビン時間延長

はき 13-77 血液疾患と症状との組合せで最も関連の低いのはどれか。

1. 白血病 — 発熱
2. 悪性リンパ腫 — 貧血
3. 血小板減少性紫斑病 — リンパ節腫大
4. 血友病 — 関節内出血

はき 14-78 「施術後、患者の血液の付いた鍼を破棄する時に誤って施術者の指に刺さった。」

針刺し事故後、感染率が最も高いのはどれか

1. 成人 T 細胞白血病
2. B 型肝炎
3. C 型肝炎
4. HIV 感染症

はき 18-79 「35 歳の男性。発熱、乾性咳嗽および呼吸困難で入院。胸部エックス線写真で両側の中・下肺野にびまん性すりガラス状陰影を認め、喀痰細胞診でニューモシスチス肺炎と診断された。」

この患者で陽性と考えられるのはどれか。

1. ライノウイルス
2. ヒト免疫不全ウイルス
3. 成人 T 細胞白血病ウイルス I 型
4. 単純ヘルペスウイルス

はき 27-64 続発性高尿酸血症の原因とならないのはどれか。

1. 白血病
2. 腎不全
3. 狭心症
4. 多発性骨髄腫

はき 28-57 白血病についてウイルスが原因で日本の西南地方に多いのはどれか。

1. 成人 T 細胞白血病
2. 慢性骨髄性白血病
3. 急性骨髄性白血病
4. 急性リンパ性白血病

はき 28-61 血液疾患と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血 —— 末梢神経障害
2. 悪性リンパ腫 —— 舌 炎
3. 急性白血病 —— 出血傾向
4. 再生不良性貧血 —— リンパ節腫脹

【悪性リンパ腫】

はき 13-77 血液疾患と症状との組合せで最も関連の低いのはどれか。

1. 白血病 — 発熱
2. 悪性リンパ腫 — 貧血
3. 血小板減少性紫斑病 — リンパ節腫大
4. 血友病 — 関節内出血

はき 20-71 疾患と検査結果との組合せで適切なのはどれか。

1. 関節リウマチ — CRP 値上昇
2. 悪性リンパ腫 — フィラデルフィア染色体陽性
3. 全身性硬化症 — HLA-B51 陽性
4. 悪性貧血 — ビタミン B6 欠乏

はき 21-65 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 再生不良性貧血 ———— ハンター舌炎
2. 悪性リンパ腫 ———— レイノー現象
3. 皮膚筋炎 ———— 陰部潰瘍
4. ベーチェット病 ———— 口腔内アフタ性潰瘍

はき 26-64 感染症に罹患しやすいのはどれか。

1. 血友病
2. 悪性リンパ腫
3. 鉄欠乏性貧血
4. 遺伝性球状赤血球症

はき 27-61 悪性リンパ腫について誤っているのはどれか。

1. 有痛性のリンパ節腫脹がみられる。
2. 化学療法が有効である。
3. 発熱がみられる。
4. CRP が陽性となる。

はき 28-61 血液疾患と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血 ———— 末梢神経障害
2. 悪性リンパ腫 ———— 舌炎
3. 急性白血病 ———— 出血傾向
4. 再生不良性貧血 ———— リンパ節腫脹

【その他】

はき 15-78 「40 歳の女性。3 か月前から歩行時のふらつき、めまいが出現した。また、2 か月前から左の難聴、耳鳴りと左顔面の感覚が鈍いことを自覚している。四肢の筋力低下はない。」最も考えられる疾患はどれか。

1. メニエール病
2. 突発性難聴
3. 聴神経腫瘍
4. 脊髄空洞症

はき 8-87 認知症が出現しない疾患はどれか。

1. 小脳橋角部腫瘍
2. ハンチントン舞踏病
3. アルツハイマー病
4. ウイルソン病

腫瘍（4問）

はき国家試験 東洋医学臨床論

【肺がん】

はき 25-135 「68 歳の男性。主訴は呼吸困難。体を動かすと呼吸が苦しくなる。樽状胸を呈し、痩せている。呼吸機能検査で 1 秒率の低下および胸部エックス線写真で肺野の透過性亢進を認めた。ブリンクマン指数は 960。」本症例の疾患で最も考えられるのはどれか。

1. 気管支拡張症
2. 肺癌
3. COPD
4. 間質性肺炎

【前立腺がん】

はき 24-123 「74 歳の男性。農業に従事。主訴は頻尿と会陰部の不快感。10 年前から尿が出始めるまでに時間がかかるようになった。就寝後、排尿のため 2 回は覚醒する。PSA 値は正常範囲内である。会陰部の不快感が増強している。血尿、尿混濁は認めず、排尿痛はない。」本症例の疾患で最も適切なのはどれか。

1. 膀胱炎
2. 膀胱結石
3. 前立腺肥大症
4. 前立腺癌の進行期

【子宮がん】

はき 27-132 次の文で示す症例に対して神経を介した治療部位として最も適切なのはどれか。

「52歳の女性。1年前に子宮癌で摘出手術を受けた。転移はない。会陰部の痛みとともに、尿失禁も起こるようになった。」

1. 上後腸骨棘と大転子頂点の midpoint の下方 4cm の点
2. 上後腸骨棘と坐骨結節下端内側を結ぶ線の上から 50~60% の点
3. 仙骨角と大転子頂点の midpoint
4. 尾骨先端と大転子頂点の midpoint

【その他】

はき 18-139 「49歳の男性。左耳痛で始まり、その後に外耳道、耳介周辺に水疱がみられ、同側の顔面が麻痺した。」最も考えられる疾患はどれか。

1. 耳下腺腫瘍
2. ベル麻痺
3. 三叉神経麻痺
4. ラムゼイハント症候群

腫瘍（43問）

あまし国家試験 病理学

【癌】

あ 1-58 正しいのはどれか。

1. 加齢は動脈硬化の素因ではない。
2. 女性は骨粗しょう症にかかりにくい。
3. 日本人は西洋人と比較して大腸癌と乳癌とが多い。
4. 臓器によって疾病に対する抵抗力が異なる。

あ 4-63 遺伝が関与する腫瘍はどれか。

1. 膀胱癌
2. 胆嚢癌
3. ウィルムス腫瘍
4. ユーイング肉腫

あ 6-63 女性に多い癌はどれか。

1. 喉頭癌
2. 甲状腺癌
3. 食道癌
4. 肺癌

あ 7-64 扁平上皮癌の好発部位として誤っているのはどれか。

1. 食道
2. 肺
3. 子宮体部
4. 子宮腔部

あ 11-64 癌の発生頻度の低いのはどれか。

1. 十二指腸
2. 空腸
3. 結腸
4. 直腸

あ 12-64 老年期に発生率が最も高くなるのはどれか。

1. 子宮頸癌
2. 乳癌
3. 前立腺癌
4. 甲状腺癌

あ 13-64 我が国のがん統計について誤っている記述はどれか。

1. 男性がん死亡率は肺癌が最も高い。
2. 女性がん死亡率は子宮癌が最も高い。
3. 前立腺癌罹患率は増加傾向にある。
4. 乳癌罹患率は増加傾向にある。

あ 18-56 男性に比べて女性に高頻度に発生するのはどれか。

1. 膵癌
2. 肝細胞癌
3. 甲状腺癌
4. 食道癌

あ 23-44 腺癌の発生頻度が高いのはどれか。

1. 皮膚
2. 膀胱
3. 食道
4. 大腸

あ 25-38 病理組織診断で確定されるのはどれか。

1. 尿中の結晶の種類
2. 僧房弁逆流の有無
3. 感染症の起炎菌の種類
4. 癌のリンパ節転移の有無

あ 25-43 予防ワクチンがある癌はどれか。

1. 乳 癌
2. 大腸癌
3. 子宮頸癌
4. 甲状腺癌

あ 25-44 扁平上皮癌が最も発生しやすいのはどれか。

1. 肺
2. 胃
3. 肝 臓
4. 膀 胱

あ 26-44 アスベストと関連があるのはどれか。

1. 肺 癌
2. 食道癌
3. 膀胱癌
4. 悪性リンパ腫

【腫瘍】

あ 1-63 上皮性腫瘍に属するのはどれか。

1. 血管腫
2. 脂肪腫
3. 平滑筋腫
4. 腺 腫

あ 2-63 腫瘍について正しい記述はどれか。

1. 良性腫瘍は境界不明瞭である。
2. 悪性上皮性腫瘍を癌腫と呼ぶ。
3. 良性腫瘍は転移をする。
4. 悪性腫瘍は膨張性発育をする。

あ 3-61 腫瘍について正しい記述はどれか。

1. 上皮性悪性腫瘍を肉腫という。
2. 癌腫は実質細胞が胞（蜂）巣を形成する。
3. 肉腫はリンパ行性に転移しやすい。
4. 肉腫は高齢者に好発する。

あ 3-62 悪性腫瘍に属するのはどれか。

1. 白血病
2. 軟骨腫
3. 脂肪腫
4. 神経鞘腫

あ 4-63 遺伝が関与する腫瘍はどれか。

1. 膀胱癌
2. 胆嚢癌
3. ウィルムス腫瘍
4. ユーイング肉腫

あ 4-64 腫瘍が転移しにくい器官はどれか。

1. 肝臓
2. 肺臓
3. 骨髄
4. 心臓

あ 5-64 腫瘍の組織構造について正しい記述はどれか。

1. 腫瘍は実質と間質とからなる。
2. 良性腫瘍は発生母組織と類似しない。
3. 悪性腫瘍は異型が少ない。
4. 非上皮性腫瘍では実質が蜂巣を形成する。

あ 7-63 腫瘍に含まれないのはどれか。

1. 筋腫
2. 骨腫
3. リンパ腫
4. 脾腫

あ 8-64 腫瘍について誤っている記述はどれか。

1. 蜂巣構造は上皮性腫瘍にみられる。
2. 腫瘍周囲の組織には萎縮がみられる。
3. 早期癌は粘膜内癌である。
4. 腫瘍細胞の大小不同は細胞分裂の異常による。

あ 9-63 良性腫瘍に多くみられるのはどれか。

1. 細胞分裂像
2. 浸潤性発育
3. 分化傾向
4. 転移

あ 10-64 次の小児の悪性腫瘍で最も頻度の高いのはどれか。

1. 髄芽腫
2. 神経芽腫
3. 肝芽腫
4. 腎芽腫

あ 17-53 血栓を起こしやすい疾患でないのはどれか。

1. 壊血病
2. 悪性腫瘍
3. 敗血症
4. 熱傷

あ 20-56 我が国の最近の小児の悪性腫瘍で年間発生数が最も多いのはどれか。

1. 骨肉腫
2. 神経芽腫
3. 肝芽腫
4. 白血病

あ 21-56 悪性腫瘍の原因となるウイルスはどれか。

1. 帯状疱疹ウイルス
2. C型肝炎ウイルス
3. 麻疹ウイルス
4. インフルエンザウイルス

あ 22-53 腫瘍と宿主に及ぼす影響との組合せで正しいのはどれか。

1. 早期癌 ————— 悪液質
2. 末期癌 ————— 免疫力低下
3. 脳転移 ————— 頭蓋内圧低下
4. 溶骨性骨転移 —— 低カルシウム血症

あ 24-44 腫瘍について正しいのはどれか。

1. 良性腫瘍では異型度が高い。
2. 間質に富む癌を髄様癌という。
3. 細胞が自律的に増殖する。
4. 進行癌では免疫力が亢進する。

あ 28-44 放射線被曝が関与する悪性腫瘍はどれか。

1. 成人 T 細胞白血病
2. 甲状腺癌
3. 肝細胞癌
4. 子宮頸癌

【骨腫瘍】

転移性骨腫瘍

骨肉腫

あ 20-56 我が国の最近の小児の悪性腫瘍で年間発生数が最も多いのはどれか。

1. 骨肉腫
2. 神経芽腫
3. 肝芽腫
4. 白血病

骨軟骨腫

【脳腫瘍】

神経膠腫

髄膜腫

下垂体腺腫

神経鞘腫

転移性脳腫瘍

【肺がん】

あ 7-58 女性に多い疾患はどれか。

1. 進行性筋ジストロフィー症
2. 全身性エリテマトーデス
3. 血友病
4. 肺 癌

あ 17-51 生活習慣病に属さないのはどれか。

1. 糖尿病
2. 肺 癌
3. 気管支喘息
4. 脳血管障害

【食道がん】

【胃がん】

あ 27-44 胃癌の病期分類に必要な情報はどれか。

1. 遠隔転移の有無
2. 体重減少の有無
3. 免疫力低下の有無
4. 腫瘍マーカー上昇の有無

【肝がん】

【胆のうがん・総胆管がん】

【膵がん】

あ 5-60 溶血性黄疸はどれか。

1. 新生児黄疸
2. C型肝炎による黄疸
3. 胆石症による黄疸
4. 膵頭部癌による黄疸

あ 7-60 黄疸の発生原因として適切でないのはどれか。

1. 胆嚢内結石
2. 膵頭部癌
3. ウイルス性肝炎
4. 不適合輸血

【前立腺がん】

【膀胱がん】

【腎腫瘍】（腎細胞がん）

【大腸がん】

あ 18-53 タール便の原因疾患として最も考えられるのはどれか。

1. 十二指腸潰瘍
2. 潰瘍性大腸炎
3. 直腸癌
4. 痔

あ 26-38 疾患の分類と疾患名の組合せで正しいのはどれか。

1. 遺伝性疾患 —— アザラシ肢症
2. 局所性疾患 —— 痛 風
3. 器質的疾患 —— 大腸癌
4. 特発性疾患 —— 帯状疱疹

【脊髄腫瘍】

【乳がん】

【子宮体がん】

【子宮頸がん】

【白血病】

あ 1-64 ウイルス感染による疾患はどれか。

1. 慢性骨髄性白血病
2. エイズ
3. 横紋筋肉腫
4. 大葉性肺炎

あ 3-62 悪性腫瘍に属するのはどれか。

1. 白血病
2. 軟骨腫
3. 脂肪腫
4. 神経鞘腫

あ 20-56 我が国の最近の小児の悪性腫瘍で年間発生数が最も多いのはどれか。

1. 骨肉腫
2. 神経芽腫
3. 肝芽腫
4. 白血病

あ 28-44 放射線被曝が関与する悪性腫瘍はどれか。

1. 成人 T 細胞白血病
2. 甲状腺癌
3. 肝細胞癌
4. 子宮頸癌

【悪性リンパ腫】

あ 26-44 アスベストと関連があるのはどれか。

1. 肺癌
2. 食道癌
3. 膀胱癌
4. 悪性リンパ腫

【その他】

腫瘍（ 24 問 ）

あまし国家試験 臨床医学総論

【癌】

あ 11-74 集中治療の適応でない病態はどれか。

1. 重症熱傷
2. 心筋梗塞
3. 重症呼吸不全
4. 末期癌

【腫瘍】

あ 6-65 高血圧を伴う疾患はどれか。

1. 膀胱腫瘍
2. 前立腺肥大
3. 睾丸腫瘍
4. 腎硬化症

あ 6-72 安静時腰痛を特徴とするのはどれか。

1. 脊椎骨の先天奇形
2. 骨粗しょう症
3. 悪性腫瘍の脊椎転移
4. 変形性脊椎症

あ 7-75 脳腫瘍の症状はどれか。

1. 発熱
2. けいれん
3. 冷や汗
4. 頻脈

あ 8-74 悪性腫瘍の治療法ででないのはどれか。

1. 紫外線療法
2. 薬物療法
3. 放射線療法
4. 手術療法

あ 16-58 リンパ節腫脹の原因疾患として適切でないのはどれか。

1. 悪性腫瘍の転移
2. 風疹
3. 結核
4. 慢性膵炎

あ 19-59 悪性腫瘍のリンパ節転移における触診で正しい記述はどれか。

1. 熱感を伴う。
2. 圧痛がある。
3. 表面は整である。
4. 可動性に乏しい。

【骨腫瘍】

転移性骨腫瘍

骨肉腫

骨軟骨腫

【脳腫瘍】

あ 10-70 疾患と検査との組合せで適切でないのはどれか。

1. アルツハイマー病 ————— 髄液検査
2. 多発神経炎 ————— 筋電図
3. 脳腫瘍 ————— MR I
4. てんかん ————— 脳波

あ 14-70 心房細動の合併症はどれか。

1. 脳塞栓
2. 脳血栓
3. 脳出血
4. 脳腫瘍

神経膠腫

髄膜腫

下垂体腺腫

神経鞘腫

転移性脳腫瘍

【肺がん】

あ 12-66 打診で鼓音を呈するのはどれか。

1. 気胸
2. 無気肺
3. 肺炎
4. 肺腫瘍

あ 25-48 呼吸音が減弱するのはどれか。

1. 早期肺癌
2. 気管支炎
3. 緊張性気胸
4. 気管支喘息

【食道がん】

【胃がん】

【肝がん】

【胆のうがん・総胆管がん】

【膵がん】

【前立腺がん】

【膀胱がん】

あ 3-67 血尿をきたしにくい疾患はどれか。

1. 急性糸球体腎炎
2. 前立腺肥大症
3. 尿路結石症
4. 膀胱腫瘍

【腎腫瘍】（腎細胞がん）

【大腸がん】

あ 18-62 血清アミラーゼが上昇する疾患はどれか。

1. 耳下腺炎
2. 肝硬変
3. 心筋梗塞
4. 大腸癌

あ 23-45 大腸がん検診で最初に行うのはどれか。

1. 腹部エックス線検査
2. 下部消化管内視鏡検査
3. 便潜血検査
4. 腫瘍マーカー検査

【脊髄腫瘍】

あ 12-70 安静時痛を特徴とする疾患はどれか。

1. 脊椎先天奇形
2. 変形性脊椎症
3. 骨粗鬆症
4. 脊髄腫瘍

あ 18-59 歩行異常と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. 動揺性歩行 — 多発性神経炎
2. 瘻性歩行 — 筋ジストロフィー症
3. 鶏歩 — 胸髄部脊髄腫瘍
4. 突進現象 — パーキンソン病

【乳がん】

【子宮体がん】

【子宮頸がん】

【白血病】

あ 17-61 飲酒に起因する健康障害はどれか。

1. 肝硬変
2. 白血病
3. 膠原病
4. メニエール病

あ 18-63 リンパ節腫脹をきたさないのはどれか。

1. 伝染性単核球症
2. 梅毒
3. 白血病
4. メニエール病

あ 19-63 血中の白血球数が増加する疾患はどれか。

1. 悪性貧血
2. 急性白血病
3. 全身性エリテマトーデス
4. 血友病

【悪性リンパ腫】

あ 20-63 血小板が減少する疾患はどれか。

1. 血友病
2. 巨赤芽球性貧血
3. 再生不良性貧血
4. 悪性リンパ腫

【その他】

あ 15-67 症候と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. ランツ点の圧痛 — 胃潰瘍
2. ブルンベルグ徴候 — 腹腔内腫瘍
3. 腹 水 — 肝硬変
4. 蠕動不穏 — 麻痺性イレウス

あ 15-60 回転性めまいがみられないのはどれか。

1. メニエール病
2. 大動脈弁狭窄症
3. 小脳橋角部腫瘍
4. 前庭神経炎

あ 18-68 伝音声難聴で正しい記述はどれか。

1. 老人性の難聴に多い。
2. コルチ器官の異常で生じる。
3. 聴神経腫瘍が原因となる。
4. 補聴器の使用が有用である。

あ 20-66 眼裂狭小がみられるのはどれか。

1. ホルネル症候群
2. 顔面神経麻痺
3. バセドウ病
4. 眼窩内腫瘍

【癌】

あ 3-94 疾患と治療法との組合せで誤っているのはどれか。

1. 癌性疼痛 ————— クモ膜下フェノールブロック
2. 坐骨神経痛 ————— 星状神経節ブロック
3. 五十肩 ————— 肩甲上神経ブロック
4. 三叉神経痛 ————— 上顎神経ブロック

【腫瘍】

あ 22-76 過敏性腸症候群について正しいのはどれか。

1. 悪性腫瘍の合併頻度が高い。
2. 排便により腹痛が軽減する。
3. 血便がみられる。
4. 内視鏡検査で異常がみられる。

あ 23-67 悪性腫瘍を合併しやすいのはどれか。

1. 全身性硬化症
2. ベーチェット病
3. シェーグレン症候群
4. 皮膚筋炎

あ 24-57 回転性めまいがよくみられるのはどれか。

1. 髄膜炎
2. 突発性難聴
3. 小脳脳幹部腫瘍
4. 聴神経腫瘍

【骨腫瘍】

あ 26-56 骨腫瘍と好発時期の組合せで正しいのはどれか。

1. ユーイング肉腫 ————— 老年期
2. 孤立性骨嚢腫 ————— 壮年期
3. 多発性骨髄腫 ————— 青年期
4. 骨肉腫 ————— 成長期

転移性骨腫瘍

骨肉腫

あ 16-83 骨肉腫について誤っている記述はどれか。

1. 高齢者に多い。
2. 膝関節近くに好発する。
3. 局所の腫脹・疼痛を起こす。
4. 下肢切断術が行われる。

あ 19-71 骨肉腫で誤っている記述はどれか。

1. 40歳代に好発する。
2. 大腿骨下端に多い。
3. 局所の疼痛・腫脹がみられる。
4. エックス線検査で骨皮質の虫食い像を認める。

あ 24-62 骨肉腫について正しいのはどれか。

1. 老年期に好発する。
2. 骨端部に好発する。
3. 手指骨に好発する。
4. 骨幹端に好発する。

あ 26-56 骨腫瘍と好発時期の組合せで正しいのはどれか。

1. ユーイング肉腫 ————— 老年期
2. 孤立性骨嚢腫 ————— 壮年期
3. 多発性骨髄腫 ————— 青年期
4. 骨肉腫 ————— 成長期

あ 27-59 骨肉腫について正しいのはどれか。

1. 好発年齢は60歳代である。
2. 初発症状は運動時痛が多い。
3. 好発部位は手指骨である。
4. 化学療法は行わない。

骨軟骨腫

【脳腫瘍】

あ 3-87 坐骨神経痛をきたしにくい疾患はどれか。

1. 悪性腫瘍の骨転移
2. 腰椎椎間板ヘルニア
3. 帯状疱疹
4. 閉塞性動脈硬化症

あ 6-86 心房細動と関係の深い疾患はどれか。

1. 脳腫瘍
2. 脳膜炎
3. 脳塞栓
4. 脳出血

あ 22-85 脳腫瘍の5年生存率で最も予後が悪いのはどれか。

1. 神経膠芽腫
2. 髄膜腫
3. 下垂体腺腫
4. 神経鞘腫

あ 27-70 「30歳の男性。人間ドックで高血圧を指摘された。頭痛、発汗、手指振戦、痩せを認めた。家族歴には特記事項なし。腹部CTでは副腎に腫瘍を認めた。」

本症例の血液検査で高値を示すのはどれか。

1. コルチゾール
2. 副腎皮質刺激ホルモン
3. カテコラミン
4. アルドステロン

あ 27-71 「30歳の男性。人間ドックで高血圧を指摘された。頭痛、発汗、手指振戦、痩せを認めた。家族歴には特記事項なし。腹部CTでは副腎に腫瘍を認めた。」

本症例の症状を起こす物質が合成・分泌される副腎の部位はどれか。

1. 球状層
2. 束状層
3. 網状層
4. 髄質

神経膠腫

髄膜腫

下垂体腺腫

あ 26-78 クッシング病について正しいのはどれか。

1. 低血圧となることが多い。
2. 下垂体腫瘍によって起きる。
3. コルチゾールの減少をきたす。
4. るいそうを呈することが多い。

神経鞘腫

転移性脳腫瘍

【肺がん】

あ 1-80 正しいのはどれか。

1. 肺結核はアデノウイルスの感染による。
2. 気管支喘息は心臓病が原因となる。
3. 肺炎の原因はサルモネラである。
4. 石綿(アスベスト)は肺癌の原因となる。

あ 2-78 肺癌と関係のない症状はどれか。

1. 胸痛
2. 吐血
3. 声がれ
4. 胸水

あ 4-79 肺癌の集団検診で重要な検査はどれか。

1. 赤沈
2. 血液ガス
3. 喀痰細胞診
4. 気管支造影

あ 16-80 喫煙者に起こりやすい健康障害で誤っているのはどれか。

1. 肺癌
2. 慢性気管支炎
3. 鉄欠乏性貧血
4. 冠動脈疾患

あ 17-81 肺癌について誤っている記述はどれか。

1. 我が国の悪性腫瘍による死亡者数の第1位を占める。
2. 喫煙による発癌リスクが高い。
3. **ダンピング症候群を併発する。**
4. 上大静脈症候群を併発する。

あ 20-80 肺癌の初発症状として適切でないのはどれか。

1. 咳 嗽
2. **鼻 漏**
3. 喀 痰
4. 胸 痛

あ 23-78 肺癌の隣接臓器への浸潤により起こるのはどれか。

1. マルフアン症候群
2. ネフローゼ症候群
3. ラムゼー・ハント症候群
4. **パネコースト症候群**

あ 25-61 肺癌の隣接臓器への浸潤により起こるのはどれか。

1. ダンピング症候群
2. ネフローゼ症候群
3. クッシング症候群
4. **パネコースト症候群**

あ 26-60 肺癌の治療で使用するのはどれか。

1. 抗菌薬
2. **分子標的薬**
3. 気管支拡張薬
4. 抗アレルギー薬

あ 26-64 COPD で最も特徴的なのはどれか。

1. 肺癌の合併は少ない。
2. **呼気が延長する。**
3. 1秒率は正常である。
4. 肺活量は低下する。

【食道がん】

あ 5-83 食道癌について適切でない記述はどれか。

1. 体重が減少する。
2. 女性に多い。
3. 食道下部に好発する。
4. 嚥下困難がある。

あ 18-79 食道疾患と症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 食道炎 — 嚥下痛
2. 食道癌 — 体重減少
3. 食道けいれん — 嚥下困難
4. 食道静脈瘤 — 呼吸困難

【胃がん】

あ 2-91 吐血の原因とならない疾患はどれか。

1. 食道静脈瘤
2. 胃 癌
3. 十二指腸潰瘍
4. 潰瘍性大腸炎

あ 21-69 胃癌について正しい記述はどれか。

1. 非上皮性の悪性腫瘍である。
2. シュニツラー転移は血行性転移である。
3. 進行胃癌の分類にはデュークス分類が用いられる。
4. 早期胃癌の5年生存率は90～95%である。

あ 26-71 「22歳の男性。腹痛と体重減少を主訴に来院。5、6年前より時々腹痛がみられていた。腹痛は空腹時痛で食事摂取により改善する。」最も考えられる疾患はどれか。

1. 逆流性食道炎
2. 胃 癌
3. 胃潰瘍
4. 十二指腸潰瘍

【肝がん】

あ 2-89 疾患と所見との組合せで誤っているのはどれか。

1. 慢性肝炎 ————— チアノーゼ
2. 肝 癌 ————— 腹 水
3. 脂肪肝 ————— 肥 満
4. 胆 石 ————— 黄 疸

【胆のうがん・総胆管がん】

【膵がん】

【前立腺がん】

あ 24-60 疾患と検査所見の組合せで正しいのはどれか。

1. 前立腺癌 ————— P S A 高値
2. 関節リウマチ ————— C R P 陰性
3. 尿崩症 ————— バソプレシン高値
4. アトピー性皮膚炎 ————— 血清 IgE 低値

【膀胱がん】

【腎腫瘍】（腎細胞がん）

【大腸がん】

あ 4-82 吐血を起こす疾患はどれか。

1. 十二指腸憩室炎
2. 結腸癌
3. 潰瘍性大腸炎
4. 食道静脈瘤

あ 17-80 潰瘍性大腸炎で正しいのはどれか。

1. 回盲部に好発する。
2. 大量の水様性下痢をみる。
3. 家族性に発症する。
4. 大腸癌の危険因子である。

あ 19-77 大腸癌で正しい記述はどれか。

1. 扁平上皮癌が多い。
2. 上行結腸側の方が症状が出やすい。
3. 肝転移を起こしやすい。
4. 進行度の判定にボルマン分類を用いる。

【脊髄腫瘍】

【乳がん】

あ 1-79 乳癌で正しいのはどれか。

1. 未婚者より既婚者に多い。
2. 腫瘍は無痛性である。
3. 皮膚癌の一種である。
4. 転移しない。

あ 12-80 乳癌の自己チェックで適切でないのはどれか。

1. 月経直前の実施
2. 皮膚のえくぼ様陥凹の有無
3. 乳頭位置の左右非対称の有無
4. 血性分泌物の有無

あ 26-61 乳癌について正しいのはどれか。

1. マンモグラフィは推奨されている。
2. 血性分泌を伴うことが多い。
3. ホルモン非依存性が多い。
4. 乳輪付近の発生が多い。

【子宮体がん】

あ 7-77 月経痛を起こしやすい疾患はどれか。

1. 子宮内膜症
2. 子宮後転症
3. 慢性付属器炎
4. 子宮体癌

【子宮頸がん】

あ 6-91 性器出血を起こさない疾患はどれか。

1. 子宮内膜症
2. 卵巣嚢腫
3. 子宮腔部びらん
4. 子宮頸癌

あ 20-78 子宮頸癌について正しいのはどれか。

1. 子宮癌全体の 50～55%である。
2. 閉経後に多い。
3. ヘルペスウイルスとの関連が示唆されている。
4. 扁平上皮癌が多い。

あ 24-56 子宮頸癌について正しいのはどれか。

1. 閉経後に多い。
2. ヒト乳頭腫ウイルスとの関連がある。
3. 腺癌が多い。
4. C E Aが腫瘍マーカーとして適している。

【白血病】

あ 1-93 慢性白血病で誤っているのはどれか。

1. 骨髄性とリンパ性とがある。
2. 肝腫と脾腫がともにみられる。
3. 出血傾向がみられる。
4. 予後は良好である。

あ 11-85 急性白血病でみられないのはどれか。

1. 皮下出血
2. 脾腫
3. 病的骨折
4. 発熱

あ 16-86 白血病の症状でないのはどれか。

1. 振戦
2. 発熱
3. 皮下出血
4. リンパ節腫脹

あ 19-83 血液疾患とその症状について正しい組合せはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血 ————— 紫 斑
2. 悪性リンパ腫 ————— ハンター舌炎
3. 白血病 ————— 出血傾向
4. 再生不良性貧血 ————— リンパ節腫脹

あ 20-81 慢性骨髄性白血病について誤っている記述はどれか。

1. Bリンパ球が腫瘍化したものである。
2. 脾腫がみられる。
3. フィラデルフィア染色体が陽性である。
4. 骨髄移植が行われる。

あ 23-56 疾患と所見の組合せで正しいのはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血 ————— スプーン状爪
2. 急性白血病 ————— 関節内血腫
3. 特発性血小板減少性紫斑病 ——— 脾 腫
4. 血友病 ————— リンパ節腫大

【悪性リンパ腫】

あ 19-83 血液疾患とその症状について正しい組合せはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血 ————— 紫 斑
2. 悪性リンパ腫 ————— ハンター舌炎
3. 白血病 ————— 出血傾向
4. 再生不良性貧血 ————— リンパ節腫脹

【その他】

あ 18-89 メニエール病で正しい記述はどれか。

1. 伝音性難聴を伴う。
2. 眩暈発作は長期間持続する。
3. 眩暈発作時には眼振を生じる。
4. 聴神経腫瘍が原因である。

【前立腺がん】

あ 3-148 排尿異常をきたす疾患で施術が適応となるのはどれか。

1. 腎盂腎炎
2. 急性尿道炎
3. 前立腺癌
4. 夜尿症

【乳がん】

あ 20-139 「56歳の女性。2年前に右乳癌で同側の全乳腺切除術と腋窩リンパ節の郭清を受けた。胸筋は温存されている。上腕の周径は右27cm、左24cm。右の腋窩部から上腕後側部の重だるさを訴えて来院した。」術後の障害で最も生じやすい所見はどれか。

1. 肩関節の強直
2. 上肢のむくみ
3. 大胸筋の筋力低下
4. 上肢の皮膚感覚の障害

【その他】

あ 14-133 めまいの原因疾患で全身あん摩が適切なのはどれか。

1. 脳動脈硬化症
2. 聴神経腫瘍
3. 更年期障害
4. 内耳炎